

第1期香南市産業振興計画 数値目標及びKPI評価書

(平成27年度～平成30年度)

評価基準			1	ページ
全部会の評価(一覧)			2	ページ
農業部会	3	～	7	ページ
林業部会	8	～	9	ページ
水産業部会	10	～	12	ページ
商業部会	13	～	14	ページ
工業部会	15	～	18	ページ
観光部会	19	～	22	ページ
サイクリング専門委員会	23	～	24	ページ
住宅部会	25	～	27	ページ

数値目標(P)に対する客観的評価の方法

達成状況を客観的に評価できる目標について、以下の4段階評価を実施。

区分	評価基準	
A	H27年度よりH30年度までの4年間の数値目標と実績値を比べて、数値を改善もしくは維持できたもの、又は状況を改善できたもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値目標を達成したもの → 達成率 100%以上 ・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成したもの
B		<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値目標をほぼ達成したもの → 達成率 60%以上100%未満 ・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標をほぼ達成したもの
C		<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値目標の達成にむけて十分な進展が見られなかったもの → 達成率 60%未満 ・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成できなかったもの または進展・改善が見られなかったもの
-		<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度の到達目標値が「0」、又は、平成30年度未着手のため達成状況が図れないもの

◆ 第1期 香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧 (H27-H30)

(※1)
 ・精査目標値 H27-H30の累積目標値
 ・精査実績値 H27-H30の累積実績値

【農業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	精査値 (※1)	4年間の達成 (達成度合)	備考
新規就農者数 (人)	目標値	10	10	12	12	15	44人	A	【根拠数値】 高知県中央東農業振興センター調べ (6月2日～翌年6月1日の数)
	実績値	17	14	7	9		47人		
	達成 (評価)	A	A	C	B			106.82%	

【林業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	精査値 (※1)	4年間の達成 (達成度合)	備考
林業境界明確化面積 (ha)	目標値	100	100	250	420	600	のべ 420ha	C	・目標値、実績値は累積面積。 ・実績値の()の数字は、その年度 に実施した面積。
	実績値 (年度実施 面積)	97.4 (97.40)	97.4 (0)	97.4 (0)	120.11 (22.71)		のべ 120.11ha		
	達成 (評価)	B	C	C	C			28.59%	

【水産業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	精査値 (※1)	4年間の達成 (達成度合)	備考
沿岸漁業総生産量 (t)	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	4,800t	B	【根拠数値】 ・H27～29 三港(手結・赤岡・吉川) ・H30～31 三港及び民間事業者1社の生産量 ※H30 三港→1,057t
	実績値	1,086	693	839	1,119		3,737t		
	達成 (評価)	B	C	B	B			77.85%	

【商工業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	精査値 (※1)	4年間の達成 (達成度合)	備考
製造品出荷額 (億円)	目標値	500以上	500以上	500以上	500以上	500以上	2,000億円	B	【根拠数値】 目標値である「製造品出荷額」は毎年2 月末に公表されるため、実績値は、調 査の対象機関の関係で、前年の製造品 出荷額を記載。
	実績値	419	396	371	397		1,583億円		
	達成 (評価)	B	B	B	B			79.15%	

【観光分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	精査値 (※1)	4年間の達成 (達成度合)	備考
観光施設入込客数 (万人/暦年)	目標値	100以上	100以上	120以上	120以上	120以上	440.0万人	B	【根拠数値】 ・実績値は暦年合計(H27～H30) ・対象施設11か所(418.9万人) ①のいち動物公園・・・654,926 ②月見山こどもの森・・・94,850 ③ヤ・シィパーク・・・1,255,583 ④絵金蔵・・・40,119 ⑤香南市サイクリングターミナル (宿泊者以外)・・・8,085 ⑥天然色市場・・・158,341 ⑦やすらぎ市・・・844,794 ⑧あぐりのさと・・・82,616 ⑨黒潮温泉・・・443,996 ⑩アクトランド・・・318,608 ⑪土佐カントリークラブ・・・288,462
	実績値	100.3	104.7	107.7	106.2		418.9万人		
	達成 (評価)	A	A	B	B			95.20%	

【サイクリング分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	精査値 (※1)	4年間の達成 (達成度合)	備考
レンタサイクル 利用者数 (人/年)	目標値	-	1,000	1,800	2,100	2,300	4,900人	A	【根拠数値】 ・対象施設3か所の貸出数 ①香南市サイクリングターミナル ②のいち駅 ③創造広場「アクトランド」
	実績値	-	1,714	2,060	2,156		5,930人		
	達成 (評価)	-	A	A	A			121.02%	

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	精査値 (※1)	4年間の 達成評価	備考
新規就農者数 (人)	目標値	10	10	12	12	15	44人	A	【根拠数値】 高知県中央東農業振興センター 調べ (6月2日～翌年6月1日の数) ※1 ・精査目標値 H27-H30の累積目標値 ・精査実績値 H27-H30の累積実績値
	実績値	17	14	7	9		47人		
	達成 (評価)	A	A	C	B			106.82%	

■取り組みの評価(総評)

【総評】

新規就農者確保の取組は、東京、大阪での移住フェアや農業人フェアに参加しPRを進めてきた。就農希望者が相談に来た場合は、制度の説明を丁寧に行い、関係機関と連携をとり就農をサポートしてきた。
また、親元就農ではない新たに農業を始める者に対しては、実践型研修ハウスを建設し、営農が波に乗るまでの地盤固めとして利用できるよう進めてきた。
その結果新規就農者数は、初年度からは減少したものの、目標数値に達することができた。今後は実践型研修ハウスを武器として、東京、大阪でのフェアで強くPRしていくことができる。
また、新規就農者だけでなく認定農業者に対しても、産地パワーアップ事業や環境制御導入普及促進事業等で低コスト耐久性ハウスの建築や環境制御装置の導入で、今後の収量の増加が見込まれ、産地としての底上げが期待できるとされる。
産地を守る取組としては、農山漁村振興交付金事業を活用して山北みらいが設立し、みかん農家の所得の向上、耕作放棄地の解消へ向けた取組が期待できることになった。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)			
	事業名称	目標値						A/B/C				
	○具体的な取組(P)	実績値										
基盤整備・防災	◆農業生産基盤の充実(県防災減災事業)											
	1. 防災施設対策整備の実施【箇所数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容			
		(H27) - (H28) 黒谷ため池(測量設計) (H29) 黒谷ため池(測量設計) (H30) 黒谷ため池(改修工事)1箇所	目標値	-	1箇所	1箇所	1箇所	3	B	黒谷ため池改修 1箇所 本改修工事の完成に向け県や地元組織と調整を行いながら31年度内の工事完了を目指す。		
		実績値	-	0箇所	1箇所	1箇所	2					
		達成(評価)	-	C	A	A	-	-				
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 生産基盤の向上に向けた取組に努め既存農家の労働条件の改善のため、農業用水施設等の改修を進めることが出来た。									
	事業内容(D)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 生産基盤の向上に向けた取組に努め既存農家の労働条件の改善のため、農業用水施設等の改修を進めることが出来た。										
	2. 排水機場施設整備の実施【箇所数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容			
		(H27) 江見・吉原排水機場 (H28) 吉原排水機場 (H29) 吉原排水機場 (H30) 吉原排水機場 (ポンプ及び電気工事)1箇所	目標値	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	4	C	江見(電気設備)・吉原(ポンプ・電気設備)排水機場改修工事の完成に向け県や地元管理者と調整を図りながら31年度内の工事完了を目指す。		
		実績値	1箇所	0箇所	1箇所	0箇所	2					
		達成(評価)(C)	C	C	A	C	-	-				
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 生産基盤の向上に向けた取組に努め既存農家の労働条件の改善のため、農業用水施設等の改修を進めることが出来た。									
	事業内容(D)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 生産基盤の向上に向けた取組に努め既存農家の労働条件の改善のため、農業用水施設等の改修を進めることが出来た。										
	3. 地域農業水利施設事業の実施【箇所数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容			
		(H27・28) 烏川・香宗川・山北川流域堰整備事業 (H29) 烏川統合堰・総合堰の改修工事 (H30) 烏川統合堰・総合堰の(改修工事)	目標値	3箇所	3箇所	2箇所	2箇所	3	B	烏川統合堰・総合堰(改修工事)取水に伴う施設で有り地元田役協議会と密に調整を図りながら31年度の工事完了を目指す。		
		実績値	0箇所	1箇所	1箇所 (1件繰越)	1箇所	2					
		達成(評価)	C	C	C	C	-	-				
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 生産基盤の向上に向けた取組に努め既存農家の労働条件の改善のため、農業用水施設等の改修を進めることが出来た。									
	事業内容(D)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 生産基盤の向上に向けた取組に努め既存農家の労働条件の改善のため、農業用水施設等の改修を進めることが出来た。										
	4. 農業水利施設保全合理化事業の実施【箇所数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容			
(H27・28) 物部川統合堰(幹線水路調査) (H29) 同上(機能診断調査) (H30) 機能診断保全計画書作成		目標値	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	4	B	平成29年度で機能診断保全計画書は完成したが、平成30年度の豪雨災害により統合堰が被災したため事業申請を繰り下げた。			
実績値		1箇所	1箇所	1箇所	0箇所	3						
達成(評価)		A	A	A	C	-	-					
精査(C)		【4年間の取組精査】(第1期精査) 平成29年度で完成した機能診断保全計画書を基に平成31年度から事業申請に取りかかる計画で進めている。										
事業内容(D)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 平成29年度で完成した機能診断保全計画書を基に平成31年度から事業申請に取りかかる計画で進めている。											
5. 農地耕作条件改善事業(頭首工)の実施【箇所数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容				
	(H27) 岩田堰袋体据付 (H28) - (H29) 曾我井川堰、烏川1号堰・3号堰 (H30) 門田堰・東佐古用排水路(測量設計) (R元) 門田堰・東佐古用排水路	目標値	1箇所	-	3箇所	2箇所	6	C	平成27,28年度は事業説明会で平成29年度から東佐古地区が事業を実施し令和元年度で事業完了する。			
	実績値	1箇所	-	0箇所	2箇所	3						
	達成(評価)	A	-	C	A	-	-					
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 平成31年度で東佐古地区が事業完了しますが、令和元年度から中ノ村地区が事業実施となる予定。										
事業内容(D)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 平成31年度で東佐古地区が事業完了しますが、令和元年度から中ノ村地区が事業実施となる予定。											

戦略の柱	◆取り組みの柱								
	事業名称	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成(達成度合)	【4年間の取組内容】(D)
	○具体的な取組(P)	目標値						A/B/C	
基盤整備・防災	6. 土地改良施設維持管理適正化事業の実施【箇所数】 (H27)－ (H28)－ (H29)西部排水機場除塵機修繕 (H30)小林堰(ゴム体修繕工事)	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
		目標値	－	－	1箇所	1箇所	2	A	H29 西部排水機場除塵機修繕(緩衝装置取替) H30 小林堰(ゴム体修繕工事) R1 竹ノ内堰(ゴム体修繕工事) R2以降事業予定なし
		実績値	－	－	1箇所	1箇所	2		
		達成(評価)	－	－	A	A	－	－	
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 生産基盤の向上に向けた取組に努め既存農家の労働条件の改善のため、農業用水施設等の改修を進めることが出来た。R31完成のため今期で振興計画から除く						
	7. 工業用水道整備事業(水路・道路等整備)の実施【件数】 (H27)4路線、西中筋6水路工事1路線 (H28)水路2路線 (H29)水路2路線、道路1路線 (H30) ・水路3件(西中筋7水路・中組南11水路中組南18水路) ・道路1件(ナノ丸1号線道路)	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
		目標値	水路4件 道路1件	水路2件	水路2件 道路1件	水路3件 道路1件	水路 11 道路 3	水路 B 道路 A	(H27)4路線、西中筋6水路工事1路線 (H28)水路2路線 (H29)水路2路線、道路1路線 (H30)水路3件(西中筋7水路・中組南11水路中組南18水路)・道路1件(ナノ丸1号線道路 31年度以降も実施調整必要であり地元調整を図りながら完了を目指す。
		実績値	水路4件 道路1件	水路2件	水路2件 道路1件	水路2件 道路1件	水路 10 道路 3		
		達成(評価)	A	A	A	B	－	－	
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 生産基盤の向上に向けた取組に努め既存農家の労働条件の改善のため、農業用水施設等の改修を進めることが出来た。						
	8. 農業集落排水整備(上岡地区集落道改良工事)の実施【件数】 (H27)水路工事 (H28)同上 (H29)同上(16・17水路) (H30)8水路・16水路	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
		目標値	2件	2件	2件	2件	8	A	(H27)水路工事 (H28)同上 (H29)同上(16・17水路) (H30)8水路・16水路
実績値		2件	2件	2件	2件	8			
達成(評価)		A	A	A	A	－	－		
精査(C)		【4年間の取組精査】(第1期精査) 生産基盤の向上に向けた取組に努め既存農家の労働条件の改善のため、農業用水施設等の改修を進めることが出来た。							
◆防災への対策									
1. 農村地域防災減災事業の実施【件数】 (H27)香南市南部避難ター (H28)新規2箇所 計3箇所 (H29)吉川地区避難ター (H30)吉川地区避難ター	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容	
	目標値	1件	3件	1件	1件	4	B	(H27)香南市南部避難ター (H28)新規2箇所 計3箇所 (H29)吉川地区避難ター (H30)吉川地区避難ター R1.9月時点で完成	
	実績値	0件	2件	繰越	1件	3			
	達成(評価)	C	B	C	A	－	－		
	精査(C)	取組の精査を行ってください。 平成30年度の繰越事業として令和元年度前期には完成し、9月下旬には香南市に施設の移管が完了する予定ですので、2期の継続は必要なし。							
2. 重油流出防止付装置燃料タンク整備事業(重油タンクの流出防止対策)【各タンク等設置数】 (H27)タンク (H28)タンク (H29)タンク・防油堤・ヒートポンプ(計21) (H30)タンク・防油堤・ヒートポンプ(計26) →タンク8・防油堤11(計19)	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容	
	目標値	19	27	21	26	93	B	広報、JAのパンフレット配布、説明会等により積極的に周知をはかった。ハウス事業を活用する方に事業を活用することを薦めてきた。	
	実績値	19	21	17	19	76			
	達成(評価)	A	B	B	B	－	－		
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 南海トラフ地震の二次災害として想定される重油流出のリスク軽減を図ることができた。今後100%設置に向けて継続して事業に取り組んでいく。							
◆担い手対策の促進									
1. 担い手育成センター研修支援事業の実施【支給人数】 (H27)－ (H28)－ (H29)担い手育成センター研修費補助 (H30)担い手育成センター研修費補助	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容	
	目標値	－	－	10人	10人	20	C	広報、パンフレットの配布、就農相談時での説明、短期研修への参加推進等により周知をはかった。また、相談時に受講することを薦めてきた。	
	実績値	－	－	4人	2人	6			
	達成(評価)	－	－	C	C	－	－		
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 基礎講座、専門講座、実践講座が受講でき、就農前に知識習得と実践ができる機会であるため、今後も入校を薦めていきたい。 家庭の事情等により行くことができない者もいたため目標値には達していないが、市の単独事業として今後も継続し、今後の新規就農者の育成につなげたい。							
経営改善・担い手									

戦略の柱	◆取り組みの柱								
	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成(達成度合)	【4年間の取組内容】(D)	
	事業名称	目標値					A/B/C		
○具体的な取組(P)	実績値								
戦略の柱	2. 新規就農推進事業の実施【利用人数】								
	(H27)新規就農研修事業 (H28)研修・親元就農支援事業 (H29)新規就農推進事業 7人 ①親元就農応援区分 ②専業農家育成区分 (H30)新規就農推進事業 7人 ①親元就農応援区分 ②専業農家育成区分	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
	目標値	4人	4人	①3人 ②4人	①3人 ②4人	①6人 ②16人	C	広報等により周知を行った。関係機関と連携し、就農希望者の経営ビジョンに沿える補助事業の推進や就農のためのアドバイスをを行った。	
	実績値	2人	3人	①3人 ②1人	①0人 ②4人	①3人 ②9人			
	達成(評価)	C	B	A C	C A	-	-		
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 新規就農者の研修時の収入はないため、国の事業に加えた事業として必要である。また、研修を受け入れてくれる農業者への補助も必要である。親元就農した場合も経済的に不安定な状態となるため、国の事業と合わせて、引き続き事業の継続が望ましい。							
	3. 農業次世代人材投資事業の実施【人数】								
	(H27)青年就農給付金事業 (H28)青年就農給付金事業 (H29)経営開始型支給数 (H30)同上	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
	目標値	10人	10人	8人	10人	38	B	広報等により周知を行った。関係機関と連携し、就農希望者の経営ビジョンに沿える補助事業の推進や就農のためのアドバイスや就農後の支援を行った。	
	実績値	2人	0人	16人	13人	31			
	達成(評価)	C	C	A	A	-	-		
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 新規就農者の経営開始時の経済面の状態は大変不安定なため、新規就農者の育成及び定着には必要な事業であり、目標数値には届かなかったが概ね遂行できた。							
	4. 農業後継者推進事業【支給人数】								
	(H27) - (H28)農業後継者 (H29)同上 (H30)同上	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
	目標値	-	15人	15人	15人	45	B	広報等により周知を行った。香南市独自の取組であり、国や県の補助事業では対象にならない人に対して補助ができ、後継者の育成と定着につながるような取り組みとなった。	
実績値	-	10人	13人	15人	38				
達成(評価)	-	B	B	A	-	-			
精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 市単独の事業であり、県下でも注目されている。国及び県の補助事業では対象にならない後継者への支援事業であり、順調に推移してきた。就農者の育成及び定着につながる事業であるため、今後も引き続き進めていきたい。								
5. 実践型研修ハウス整備事業【ハウス面積】									
(H27) - (H28) - (H29)ハウス設置に向けた取組 (H30)ハウス面積30a(10a×3棟)の建設	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容	
目標値	-	-	30a	30a	30	A	H30 3棟建設 R元 3棟建設予定 R元 全6棟完成予定。 研修生確保に向けて広報で周知している。		
実績値	-	-	繰越	30a	30				
達成(評価)	-	-	C	A	-	-			
精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 新規就農者の収量増大につながる圃場確保のため事業に取り組んできた。R元年度完成予定のため、今年度で計画から除外する。								
経営改善・担い手	◆経営の改善への対応								
	1. 園芸用ハウス整備事業【件数】								
	(H27)園芸ハウス整備/復旧支援事業 (H28)園芸用ハウス (H29)①中古 ②新規ハウス整備 (H30)中古・新規ハウス整備	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
	目標値	8件 (4件/4件)	12件	計15件	計19件	54	B	広報等により周知を行った。また、JA主催の説明会に出席し、活用推進に力を入れてきた。	
	実績値	4件 (4件/0件)	9件	計13件	計13件	39			
	達成(評価)	C	B	B	B	-	-		
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 新規就農者、規模拡大等を行う担い手園芸農家が園芸用ハウス事業を活用することにより、香南市主要作物の耕作面積が増え、農業生産性の向上や農業所得の向上に寄与してきた。要望が多いため今後も継続していく。							
	2. 経営所得安定対策推進事業【利用件数】								
	(H27)戸数/面積 2,901戸/1,089ha (H28)主食用米 715ha/飼料用米 68ha ⇒主食用米 526ha/飼料用米 42ha (H29)利用件数 (H30)利用件数	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
	目標値	-	-	1,000件	1,000件	2,000	B	香南市地域農業再生協議会事務局・JA高知県・市農林課職員により個別面談による各農家の営農計画の聞き取りと併せて事業内容の周知を行った。また「水田フル活用ビジョン」を作成、公表することで、水田における作物ごとの取組方針を明らかにし、地域の特色ある産地づくりに向けた取組を推進した。	
	実績値	-	-	1,117件	741件	1,858			
	達成(評価)	-	-	A	B	-	-		
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 地域振興作物や非主食用米の生産の維持・拡大、需要に応じた米生産の推進を図ることができた。今後も関連機関と経営所得安定対策事業の活用方法や水田フル活用ビジョン等の計画内容を共有し連携して事業の推進に努める。							

戦略の柱	◆取り組みの柱								
	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成(達成度合)	【4年間の取組内容】(D)	
	事業名称	目標値					A/B/C		
○具体的な取組(P)	実績値								
経営改善・担い手	3. 農地中間管理事業【件数】								
	(H27~29)利用件数 (H30)利用件数	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
		目標値	5件	5件	5件	5件	20	B	年に1度認定農業者に案内文を送付してPR活動を行ってきた。
		実績値	2件	5件	4件	7件	18		
		達成(評価)	C	A	B	A	-	-	
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) PRが少なかったためか件数が伸びなかった。今後は関係機関と連携し積極的なPRを行い、耕作放棄地の減少に努める。						
	4. 環境制御技術導入普及促進事業【件数】								
	(H27)環境制御技術導入加速化事業 (H28)環境制御技術導入促進事業 (H29)環境制御技術導入促進事業 (H30)環境制御技術導入促進事業	年度	H27	H28	H29	H30	計(A)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
		目標値	34件	37件	26件	19件	116	A	平成26年度県単独の環境制御装置を導入する補助事業に、香南市が上乗せ補助事業として実施したところ、導入後の収穫量増等から取り組む農家が増えた。平成28年度から県補助事業は補助率の良い国の産地パワーアップ事業に乗り換えたが、香南市は今まで同様に上乗せ補助事業を継続して実施した。
		実績値	34件	33件	27件	43件	137		
		達成(評価)	A	B	A	A	-	-	
		精査(A)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 環境制御装置は、農産物にとって今までにない増収効果のある機器で、毎年導入希望者があり補助事業に努めた。						
	5. 産地パワーアップ事業【件数】								
	(H27) - (H28)ニラそぐり機、低コスト耐候性ハウス →ニラ25件、ハウス3件 (H29)ニラそぐり機15件・低コスト耐候性ハウス5件 →ニラ20件、ハウス5件 (H30)環境制御15件、結束機10機、そぐり機20機、ハウス資材3件	年度	H27	H28	H29	H30	計(A)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
		目標値	-	-	20件	48件	68	A	平成28年度にニラ、メロン、小ネギの産地計画書を作成したことで、3年間の補助事業が可能となった。主に低コスト耐候性ハウスや環境制御装置等に取り組んだ。
	実績値	-	28件	25件	23件	76			
	達成(評価)	-	-	A	C	-	-		
	精査(A)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 3年間の事業で、導入した機器によって増収効果や省力化はもとより、耐風速50m/sに絶えられる低コストハウスで環境制御装置の整った施設整備に努めた。							
◆農産物のブランド化の推進と加工品の開発									
1. 農山漁村振興交付金事業(6次産業化の取組によるビジネスづくり)【年度により数値目標変更】									
(H27)産業振興推進総合支援事業費【販売額】①メロン ②ニラ (H28)次世代型ハウス・農業クラスター促進事業【クラスター整備数】 (H29)新規商品開発【件数】 ・山北みかんバター ・山北みかんかき氷 (H30)○新商品販売開始数 1件 ○既存商品販売個数 ・山北みかんバター 3,000個 ・山北みかんかき氷 300個	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容	
	目標値	-	1件	1件	①1件 ②A3,000個 B300個	新商品3	A	H29年度に農山漁村振興交付金事業を導入(～R3迄、5年間)し、「山北みかん」「ニラ」「労働力確保」をテーマに各部会による取組を実施。H30年度、農業担い手不足の解消や、生産者の所得向上を目指し、地域農業モデルとなる会社設立に向けて市・生産者・JA高知県・民間企業など7者による包括的連携協定を締結した。	
	実績値	メロン 406,113千円 ニラ 1,100,247千円	1件	5件 (うち2件を販売開始)	①1件 ②A5,342個 B380個	新商品7			
	達成(評価)	-	A	A	A	-	-		
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) メロン・ニラ等について、地域交流を含めた地産地消策や関係機関と地産外商策を推進。山北みかんについては、ジュース加工してふるさと納税に活用や生産者によるバター販売等を開始するなど6次産業化に向けた取組を行い、マルシェ開催の支援等を実施してきた。当事業の取組は、市のPRや農家所得向上及び雇用促進に効果があり、今後も新規開発品数点の商品化や新会社運営の支援等の取組を行っていきたい。							
◆消費者の安全安心志向への対応									
1. 地産地消推進協議会補助事業【使用率】									
(H27) - (H28)学校給食への市内産野菜(主要品目)の使用率 (H29)同上 (H30)同上	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容	
	目標値	-	37%	37%	38%	38%	B	市内の給食センターへ地元食材を供給する態勢を直販所を中心に整え取り組みを行った。加工品の取り組みを進めるため、HACCPの取得事業を実施し、使用量の増加に繋がっている。	
	実績値	36%	31%	30%	36%	36%			
	達成(評価)	-	B	B	B	-	-		
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 給食センターへの地産地消事業としては、香南市は事例モデルとして県外から注目されている。直販所などの組織を中心とし、納入時の課題を解決しながら進めている。地場産物の振興、子供たちへの食育につながる事業であるため、今後も引き続き進めていきたい。							

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)		
	事業名称	目標値							A/B/C			
	○具体的な取組(P)	実績値										
経営改善・担い手	2. 信頼される産地づくり支援事業【検体数】		年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容		
	(H27) - (H28) 利用件数 (H29) 同上 (H30) 同上	目標値	-	150検体	147検体	123検体	420	400	B	農産物の安全・安心を証明することを目的として残留農薬検査を実施してきた。		
		実績値	150検体	147検体	127検体	126検体	400	-	-			
		達成(評価)	-	B	B	A	-	-	-			
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 関係機関が一体となった安全・安心な農産物づくりが可能となったことから各部会・農家の意識も向上し、積極的に自主検査に取り組むようになった。									
中山間	◆農地の保全と活用の促進											
	1. 中山間地域等直接支払事業【組織数】		年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容		
	(H27~H29) 組織数 (H30) 組織数	目標値	-	11組織	11組織	11組織	11	11	A	広報掲載やパンフレット配布等により、制度について周知。各組織での総会開催や農業者との面会により課題等について協議を行い、事業取組を促している。		
		実績値	8組織	11組織	11組織	11組織	11	-	-			
		達成(評価)	-	A	A	A	-	-	-			
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 集落協定組織数は増えていないが、農業者の高齢化・人手不足が顕著な中で、年々対象農地面積を増加する等、順調に取り組んでいる。耕作や維持管理が不利な中山間地域において当事業の継続が必要。									
	2. 多面的機能支払事業【組織数】		年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容		
	(H27~H29) 組織数 (H30) 組織数	目標値	-	10組織	10組織	10組織	10	10	8	A	H27~H30年度において、各地区の活動組織が交付金を活用し、水路、農道等の草刈りや泥上げ、補修・更新等、コスモス等による景観形成を実施し、農業用施設や農村環境の維持・保全に繋がった。	
		実績値	10組織	10組織	10組織	10組織	8	-	-			
		達成(評価)	-	A	A	A	-	-	-			
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 毎年度、各地区の10組織が活動を実施しており目標値を達成できた。しかし、H30年度末を持って、役員の高齢化や人材不足等の理由で2組織が活動を断念することになった。今後は新たな組織設立を目指して広報活動を続け、地元と協議を進めていく。										
◆有害鳥獣被害対策												
1. 鳥獣被害対策実施隊【捕獲数】		年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容			
(H27) 捕獲数 猪、鹿、カラス等 計680 →猪232、鹿105、カラス等229 計566 (H28) 猪220、鹿150、カラス等130 計500 →猪161、鹿119、カラス等320 計600 (H29) 猪220、鹿150、カラス等500 計870 →猪217、鹿210、カラス等315 計742 (H30) 猪220、鹿150、カラス等500 計870 →猪221、鹿190、カラス等85 計486	目標値	680頭羽	500頭羽	870頭羽	870頭羽	2,920	2,587	B	香南地区猟友会や香我美狩猟クラブと連携し、有害鳥獣の駆除に努めた。また、くくり罠用の発信器や小物用箱罠を狩猟者に貸し出す等の支援も行った。			
	実績値	566頭羽	600頭羽	742頭羽	679頭羽	2,587	-	-				
	達成(評価)	-	A	B	B	-	-	-				
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) イノシシ、シカの捕獲数は概ね達成できたが、カラス等の捕獲数が目標を大幅に下回った。特にカラスに関しては、街中や人家の近くに出没することが多く、銃が使えないため駆除が難しく、捕獲数が少なくなっている。今後は、カラスの捕獲数を上げる対策が必要である。										
2. 有害鳥獣被害防止事業【m】		年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容			
(H27) 防止策延長 (H28) 同上 10,000m (H29) 同上 10,000m →9,026mで完成(A評価) (H30) 同上	目標値	-	10,000m	10,000m	10,000m	30,000	26,231	B	イノシシやシカによる農作物への被害を軽減するために、ワイヤーメッシュ柵や電気柵等に対して補助金を交付し、設置して貰った。地域で農作物の被害が発生すると、柵の設置を勧め、事業の活用を促した。			
	実績値	8,340m	7,539m	9,026m	9,666m	26,231	-	-				
	達成(評価)	-	B	A	A	-	-	-				
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 概ね計画通り事業を実施できた。今後も継続して、事業の活用を促していく。										

◆ 第1期香南市産業振興計画 林業部会『数値目標及び実績』一覧(H27-H30年度)

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	精査値 (※1)	4年間の 達成評価	備考
森林境界明確化面積 (ha)	目標値	100	100	250	420	600	420ha	C	・目標値、実績値は累積面積。 ・実績値の()の数字は、その年度に 実施した面積。 ※1 ・精査目標値 H27-H30の累積目標値 ・精査実績値 H27-H30の累積実績値
	実績値 (年度実施面積)	97.4 (97.40)	97.4 (0)	97.4 (0)	120.11 (22.71)		120.11ha		
	達成 (評価)	B	C	C	C			28.59%	

■ 取り組みの評価(総評)

【総評】

森林の所有者が特定できない、所有者の同意が得られないといった問題があり、当初、5年間の目標値としていた600haに対し、4年間で終了したH30年度時点の実績が120.11haとなり、大きく下回った。
森林所有者の特定については、香美森林組合と「所有者不明の森林の一覧表」を共有し、森林法第191条の2を根拠に、税務課の情報を活用し、市から現在の所有者に案内文を送付し、所有者を特定ことに取り組んだが、現時点では実績の増加には繋げることができていない。
森林境界明確化は、間伐等の森林整備を実施していく前提条件となる事業であるため、今後も引き続き実施していく。目標値に近づけることは困難ではあるが、引き続き、森林所有者の特定に市が協力したり、所有者に対して説明会を実施する等して事業量を増やしていく。

戦略の柱	◆ 取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)
	事業名称	目標値						A/B/C	
基盤整備	○ 具体的な取組(P)	実績値							
	基盤整備	◆ 林業の振興							
1. 林道道路側溝整備事業		年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
(H27) ①畑山・奥西川線側溝土砂撤去 ②路面清掃 (H28) ①城山・羽尾線 L=7,094m ②畑山・奥西川線擁壁工事 ③同 舗装工事 ④畑山・仲木屋残土場整備事業 (H29) ①畑山・奥西川線擁壁復旧工事 ②同 舗装工事 ③畑山・仲木屋線側溝清掃 ④城山・羽尾線修繕 (H30) ①畑山・仲木屋線擁壁復旧工事 ②城山・羽尾線側溝清掃工事 ③城山・羽尾線舗装工事 ④水源の森保有育間伐事業		目標値	① - ②L=8,273m	①L=2,500m ②③④	①L=10m A=41.7㎡ ②A=800㎡ ③L=4,500m ④L=8m、 A=29㎡	①L= 5.0m A=16.5㎡ ②L=3,000㎡ ③A=400㎡ ④33,191㎡	-	B	左表の通り香南市内の各林道の 管理・整備を実施した。 ※ 評価について A評価 10 B評価 1 C評価 3 A及びB評価 11 / 14 78.57% よって B評価とした。
実績値		①L=1,000 m ②L=8,273 m	①L=2,500m ②完了 ③未完了 ④完了	①L=10m、 A=39.5㎡ ② A=1099.2㎡ ③L=3,380m ④L=8m、 A=30.9㎡	①L= 5.0m A=16.5㎡ ②③中止 ④33,191㎡	-			
達成 (評価)	①A ②A	① A ② A ③ C ④ A	① A ② A ③ B ④ A	① A ② C ③ C ④ A	-	-			
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) H30年度において、7月豪雨の関係で中止となってしまった事業もあったが、4年間では概ね事業を計画通りに実施することができた。							
森林資源保全	◆ 林業の振興								
	1. 緊急間伐総合支援事業	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	(H27) ①切捨間伐 ②保育・搬出間伐 ③作業道整備 (H28) ①切捨間伐 ②保育・搬出間伐 ③作業道整備 ④人工造林 ⑤被害防護ネット (H29) ①切捨間伐 ②保育・搬出間伐 ③作業道整備 ④人工造林 ⑤被害防護ネット (H30) ①切捨間伐 ②保育・搬出間伐 ③作業道整備	目標値	① 5ha ②57ha ③3,300m	①10ha ②30ha ③2,800m ④3ha ⑤1,000m	①10ha ②30ha ③2,800m ④3ha ⑤1,000m	①10ha ②58ha ③1,700m	-	C	左表の通り間伐や作業道整備、 造林を実施した。 しかしながら、森林所有者の同意 が得られなかったり、災害等で 県道や作業道が被災した影響で 事業の実績が目標値より下回った。 ※ 評価について A評価 3 B評価 4 C評価 9 A及びB評価 7 / 16 43.75% よって C評価とした。
	実績値	① 0ha ②15ha ③1,880m	① 0ha ②16ha ③2,802m ④次年繰越 ⑤次年繰越	① 23.98ha ② 22.45ha ③ 1,247m ④ 2.7ha ⑤ 887m	①8.57ha ②26ha ③990m	-			
達成 (評価)	① C ② C ③ C	① C ② C ③ A ④ C ⑤ C	① A ② B ③ C ④ B ⑤ B	①B ②C ③A	-	-			
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 森林所有者の同意が得られない、災害等で県道や作業道が被災し事業が実施できないといった問題があり、目標値を下回ることが多く見られた。 まずは、間伐等の事業に対して所有者の理解が得られるように事業を周知し、目標値を達成できるように来年度以降も取り組んでいく。							

戦略の柱	◆取り組みの柱							4年間の達成(達成度合)	【4年間の取組内容】(D)	
	事業名称	年度	H27	H28	H29	H30	計			
	○具体的な取組(P)	目標値								
森林資源保全	2. 森林整備地域活動支援事業	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27)①森林経営計画作成推進 ②設業集約化 ③条件整備 (H28)①森林経営計画作成推進 ②設業集約化 ③条件整備 (H29)①森林経営計画作成 ②森林所有者境界明確化 ③設業集約化 ④条件整備 (H30)①森林所有者境界明確化(夜須町沢谷) ②条件整備(夜須町沢谷)	目標値	①203.75ha ②10ha ③224.97ha	①100ha ②5ha ③50ha	①100ha ②35ha ③5ha ④5ha	①50ha ②38ha	-	C	森林境界明確化をH30年度に実施したが所有者が特定できなかったり、所有者の同意が得られない等の問題があり、事業量が目標値を下回った。香美森林組合と市が「所有者不明の森林一覧表」を共有して、所有者の特定に努めたが、現時点では、実績の増加には繋がっていない。 ※H27年度の森林境界明確化については、別事業で実施。 ※評価について A評価 0 B評価 2 C評価 9 A及びB評価 2/12 16.67% よって C評価とした。	
		実績値	①81.5ha ②5ha ③76.05ha	①84.41ha ②未実施 ③未実施	①98.3ha ②③④未実施	①22.71 ②中止	-	-		
		達成(評価)	① C ② C ③ C	① B ② C ③ C	① B ② C ③ C ④ C	① C ② C	-	-		
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 森林境界明確化については所有者が特定できない、同意が得られない等の理由で、当初目標としていた数値よりも下回った。 引き続き、香美森林組合と市が「所有者不明の森林一覧表」を共有して、所有者の特定に努め、把握できている所有者についても、説明会を開催し事業への理解を得られるようにして、目標通りに実施できるようにしていく。							
	3. 森林・山村多面的機能発揮対策事業	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27) - (H28) - (H29) 事業の取組に向けた準備。整備 (H30) 林業事業体の周知	目標値	-	-	準備・整備	事業周知の徹底	-	C	H29年度から始まった事業であり、要綱等を整備した後、香南市内で活動している市外の組織に対して交付金を支払った。	
		実績値	-	-	事業に対する要綱等を整備	未実施	-	-		
		達成(評価)	-	-	A	C	-	-		
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 要綱等を整備し、事業を活用できる体制を整えたが、香南市内に拠点を置く、活動組織が無い状態のため、実質的にあまり事業が行われていない状態であった。							
	4. 林地台帳整備事業	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) 本事業の取組に向けた準備・整備(情報の追加・更新等)	目標値	-	-	-	準備・整備	-	C	H30年度から林地台帳の運用が開始されたが、情報の追加・更新等の問題があったため、県と税務収納課と協議して、登記情報の差分データを活用できないか調整したが、データ形式の関係で活用できなかった。	
	実績値	-	-	-	-	-	-			
	達成(評価)	-	-	-	-	-	-			
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 林地台帳の円滑な活用に向けて、準備・整備したが、現時点では情報の追加・更新に問題があり、あまり活用できていない。								
5. 水源の森整備事業	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容		
(H27) 搬出間伐 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 要望なし。R元年度に向けた推進の実施	目標値	5ha	5ha	5ha	-	15	A	搬出間伐を左表のとおり実施した。		
	実績値	5ha	5ha	5ha	7.88ha	22.88	-			
	達成(評価)	A	A	A	-	-	-			
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 計画通りに事業を実施できた。								
6. 森林整備推進事業(高性能林業機械導入)	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容		
(H27) ①スイングヤーダ ②プロセッサ (H28) ①木材自動選別機 ②脱着式コンテナ (H29) ①タワーヤーダ ②脱着式コンテナ (H30) ①8tベース・グラップル付きトラック ②プロセッサ	目標値	①1台導入 ②1台導入	①1台導入 ②1台導入	①1台導入 ②1台導入	①1台導入 ②1台導入	①4台 ②4台	① B ② B	香美森林組合の高性能林業機械購入に対して補助し、4年間で6台導入した。		
	実績値	①1台導入 ②1台導入	①1台導入 ②次年繰越	①1台導入 ②1台導入	①中止 ②1台導入	①3台 ②3台	-			
	達成(評価)	A	B	A	C	-	-			
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 次年度に事業持ち越しになったり、国費不採択のため、導入できなかったこともあったが、概ね計画通りに事業を実施できた。								
木質バイオマス	◆林業の振興									
	1. 森林の活用	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27)①木質バイオマス供給対策 ②利用促進対策 (H28) 農業ハウス用ペレットボイラー数2基の運用 (H29) 同上 (H30) 同上	目標値	2件	2件	2件	2件	2	A	H27年度に木質バイオマスエネルギー利用促進協議会を開催し、安定供給や利用促進について協議した。 H28年度以降は現在導入しているペレットボイラー2基を有効的に運用した。	
		実績値	2件	2件	2件	2件	2	-		
	達成(評価)	A	A	A	A	-	-			
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) ペレットボイラーを導入したハウスの利用者に活用して貰った。 耐用年数が過ぎたため、令和元年度中に利用者に譲渡する予定である。								

◆ 第1期香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧(H27-H30)

【水産業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	精査値 (※1)	4年間の 達成評価	備考
沿岸漁業総生産量 (t)	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	4,800t	B	【根拠数値】 ・H27～29 三港(手結・赤岡・吉川) ・H30～31 三港及び民間事業者1社の生産量 ※H30 三港→1,057t ※1 ・精査目標値 H27-H30の累積目標値 ・精査実績値 H27-H30の累積実績値
	実績値	1,086	693	839	1,119		3,737t		
	達成 (評価)	B	C	B	B			77.85%	

■ 取り組みの評価(総評)

【総評】

水産業分野の「沿岸漁業総生産量」については、H28年度が693トンと例年になく不漁であったが、翌年度からは総生産量は上昇し、H30年度には目標値(1,200トン)に大きく近づいている。

また、加工・流通・販売体制の強化に取り組んだ成果もあり、総生産量と合わせて生産額(漁業所得)も大きく上昇しており、所得の向上は図れている。

(※ H29年度までは県漁協3支所の水揚げデータを実績としていたが、H30年度からは市内民間企業の生産量を追加。県漁協3支所のみはH30年度は1,058トン)

漁港施設の改修も順調に行っている。

また、水産加工品の流通販売として手結加工場の販売額は大きく売り上げを伸ばしており、今後も加工・流通・販売体制を強化していきたい。

後継者の育成については、1名の新規漁業就業者を確保したのみで、漁業就業者の高齢化から新規漁業就業者の確保が課題となっており、関係機関と連携し確保には努めていますが、市内主要漁業形態は一人での就業は難しく、就業には至っていません。引き続き、高知県漁業就業支援センター等と連携を図り、新規就業者の確保に努めていく必要がある。

また、市内水産物(シイラやじゃこなど)の認知度向上に向けた取り組みを検討・実施し、香南市ブランドの展開を図る必要がある。

戦略の柱	◆ 取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)
	事業名称	目標値	実績値						A/B/C	
改修整備	◆ 水産業の振興		年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	1. 水産機能施設の整備 (老朽化等に伴う各種漁業用施設の改修・整備) 【改修・整備件数】 ○老朽化等に伴う各種漁業用施設の改修・整備件数 10件 (H26からの累計) (H27) 施設改修・整備 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上	目標値	8件	8件	8件	10件	10	A	漁協との協議により、老朽化した水産機能施設の改修・整備を実施し、円滑な漁業活動を維持した。	
		実績値	6件 (H26年度3件込)	11件	15件	17件	17			
		達成(評価)	A	A	A	A	-	-		
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 円滑な漁業生産体制を維持していくため、施設の管理に努めた。また今後は支所・市場の廃統合も議論されていくことになるので、その動向も踏まえ、対応を検討していく必要がある。老朽化に伴い年々修繕等が増加している傾向にあり、整備件数を目標値として掲げ、評価していくことは実情とあっていないため、今後は目標値から削除する。								
改修整備	2. 漁港施設の整備改修整備率		年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	(H27) ①吉川漁港災害復旧工事 ②水産物供給基盤機能保全事業 ③住吉漁港灯浮標補修工事 ④県営事業 (H28) ①水産物供給基盤機能保全事業 ②吉川漁港施設用地舗装復旧工事 ③吉川・住吉漁港航路標識保守点検 ④県営事業 (H29) ①水産物供給基盤機能保全事業 ②海岸保全施設長寿命化計画策定 ③県営事業 (H30) ①水産物供給基盤機能保全事業 ②吉川漁港海岸防耐震調査事業 ③県営事業【赤岡漁港3号導流堤保全工事、赤岡漁港浮橋設置、河川海岸高潮対策事業、岸本海岸離岸堤 消波ブロック製作・据付】	目標値	-	37%	30%	37%	37	B	漁港施設の長寿命化事業により、生産基盤の維持に努めた。	
		実績値	-	30%	25%	31%	31			
		達成(評価)	-	B	B	B	-	-		
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 今年度予定されている事業についてはほぼ順調に実施できている。目標値設定時点では37%としていたが、国補助事業であり、予算配分により変動があるため、H30年度末での整備率は31%となった。産業振興の面から、直接漁業生産に関する整備ということで、海岸関係事業は削除し、今後は漁港整備のみとする。								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)	
	事業名称	目標値						A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値								
経営基盤強化	◆水産業の振興									
	1. 新規漁業就業者の確保【人】 (H27) 研修生への継続支援 (H28) 赤岡地区の新規就業希望者への技術研修支援 (H29) 新規漁業就業希望者の募集 (H30) ①新規漁業就業希望者の募集 ②民間企業や漁協が行う担い手育成の支援を行う国や県の雇用型事業の推進による新規漁業就業者の確保	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
		目標値	研修継続支援	1名	1名	1名	3	C	H26年度から2年間の研修により、1名の新規漁業就業者を確保。(県漁協赤岡支所)	
		実績値	研修継続支援実施	1名	0名	0名	1			
達成(評価)		A	A	C	C	-	-			
精査(C)	複数人で操業するという市内漁業形態では1人での就業が難しい現状であり、5年間で1名という結果となっている。 H31年4月に設立された「(一社)高知県漁業就業支援センター」と連携をとり、新事業である【雇用型漁業支援事業】・【漁家子弟支援事業】については可能性があるだけに、既存漁業者への支援事業の周知を行っていく必要がある。									
2. 漁場の保全 (海藻類育成被度%) (H27) ①手結地区藻場保全活動 ②赤岡・吉川地区の掃海活動 (H28) ①手結地区藻場保全活動 ②赤岡・吉川地区の掃海活動 (H29) ①手結地区藻場保全活動 ②赤岡・吉川地区の掃海活動 (H30) ①手結地区藻場保全活動 ②赤岡・吉川地区の掃海	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容		
	目標値	46%	52%	58%	64%	64	B	藻場再生事業を手結地区で、掃海事業を赤岡・吉川地区でH27以前より実施していた事業を継続して実施した。		
	実績値	44%	44%	52%	47%	47				
	達成(評価)	B	B	B	B	-	-			
精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) ・【手結地区藻場保全活動】 台風や豪雨等の気象状況の関係で活動があまり実施できていない年度もあり、今後、活動開始を台風等の影響がでない時期に早められるよう関係機関に要望していく必要がある。 ・【赤岡・吉川掃海事業】 掃海用の網についての規格等を決定し、必要な時期に実施していく必要がある。									
経営基盤強化	3. 漁業者の所得向上(沿岸漁業総生産) (H27)①操業効率化を図るための衛星通信機器の整備等 ②手結:エンジンリース事業 ③所得向上に向けた協議 (H28)①エンジンリース事業 ②沖合養殖振興事業の実施 (H29)①沿岸漁業総生産量 ②エンジンリース事業 ③シラス業における所得向上検討 (H30) ①沿岸漁業総生産量 1,200t/年 (H24~H26平均) ②沿岸漁業総漁獲量 238,000千円 (H27~H29平均) ③沿岸漁業設備投資促進事業費補助金の要望整理	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
		目標値	1,200 t	1,200 t	1,200 t	1,200 t	4,800	B	漁業者の生産性の向上及び省力化及び省コスト化を図るため、衛星電話及びエンジンのリース事業等を実施した。また、シラス漁における所得向上の検討を開始した。	
		実績値	1,086 t	693 t	839 t	1,119t	3,737			
		達成(評価)	B	C	B	B	-	-		
精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 「沿岸漁業総生産量」については、平成28年度が693トンと例年になく不漁であったが、翌年度からは総生産量は上昇し、平成30年度には目標値(1,200トン)に大きく近づいている。 また、手結支所において、シラ加工・流通・販売体制の強化に取り組んだ成果もあり、総生産量と合わせて生産額(漁業所得)も大きく上昇しており、所得の向上は図れている。目標値は「生産量」であるが、「生産額」は直接漁業所得に繋がるものであり、評価については「生産額」を重要視していく必要がある。「生産額」を向上させるためには、最終商品の需要がないと(売れないと)上がっていかない。今年度、他事業者との連携により、シラ加工品が11月よりふるさと納税の返礼品として流通する予定であり、今後その出荷状況も踏まえて関係機関と協議し、広く展開していけるようにしていく必要がある。また水産物を地元から発信するため、市内飲食店(例えば商工会・観光協会の会員等)での使用状況について調査し、今後の展開に繋げていく。									
経営基盤強化	4. 観光漁業の推進 (地引網漁業経営体の維持) (H27) 観光地引き網案内看板の設置 1か所 (H28) 地引き網体験(小学生)1回 (H29) 遊漁・観光漁業への取組HPのリニューアル (H30) 取組、議論ともに停滞のため一時検討を中止	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
		目標値	1経営体	1経営体	1経営体	1経営体	1	C	地引網経営体が1経営体となり、体験学習や案内看板の設置を行った。	
		実績値	1経営体	1経営体 (休業中)	1経営体 (休業中)	-	0			
		達成(評価)	A	C	C	-	-	-		
精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 現在、地引網は休業中であるため精査しない。 そのため、第2期香南市産業振興計画の目標値は設定しないが、再開に向けての動きがあれば支援していく。									

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)	
	事業名称	目標値						A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値								
生産・加工・流通・販売	◆水産業の振興									
	1-1. 水産加工品流通販売の推進 【給食センターへの食材納入回数】(回数)	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27) ①食育授業実施 - 未実施 ②小学生の三枚下ろし・地引き網体験未実施	目標値	11回	11回	11回	11回	44	A	シイラの定期的な給食センターへの納入を実現した。また、次世代を担う世代に対し、香南市の魚に関わる機会を得ることができた。	
	(H28) ①地元漁業の学習 2回実施	実績値	19回	22回	23回	22回	86			
	(H29) ①給食へのシラス納入検討 ②シラスの釜揚げ体験等の学習 4回 (H30) ①釜揚げ体験・食育学習 ②給食へのシラス(かちりじゃこ)納入検討 ③世代間交流事業	達成 (評価)	A	A	A	A	-	-		
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) シイラの学校給食納入については、定期的に変更して使用してもらえようになり回数も増加した。しかし、シラス(かちりじゃこ)の学校給食への納入は実現されておらず、今後も関係機関と調整していく。 体験・食育活動については、学校からの依頼により定期的に行っており、今後も継続することにより、香南市の魚を若い世代に知ってもらえる機会にしていく。							
	1-2. 水産加工品流通販売の推進 【流通に伴う取組と設備】 (手結支所販売額)	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27) - (H28) ①手結:加工所整備事業(ヘッドカッター導入)	目標値	1,500万円	1,500万円	1,500万円	3,000万円	7,500万円	A	県漁協手結支所における加工事業への機器導入(ヘッドカッター・保冷車)も含め、生産体制の強化を図った。	
	(H29) - (H30) ①シイラを地元飲食店へ納入開始 (manamana) ②香南市産業振興計画施設等整備事業【保冷車購入】(県漁協手結支所)	実績値	2,299万円	4,058万円	4,426万円	6,328万円	17,111万円			
		達成 (評価)	A	A	A	A	-	-		
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 漁協の販路開拓・営業等の努力により、シイラ販売額も当初をはるかに上回る結果となった。これに伴い漁業者の所得も上がっているという意見もあり、今後も継続して販売できるよう体制を維持、向上させていく必要がある。								

◆ 第1期香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧(H27-H30)

【商業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	精査値 (※1)	4年間の 達成評価	備考
製造品出荷額 (億円)	目標値	500以上	500以上	500以上	500以上	500以上	2,000 億円	B	【根拠数値】 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月末 に公表されるため、実績値は、調査の対象機 関の関係で、前年の製造品出荷額を記載。 ※1 ・精査目標値 H27-H30の累積目標値 ・精査実績値 H27-H30の累積実績値
	実績値	419	396	371	397		1,583 億円		
	達成 (評価)	B	B	B	B			79.15%	

■ 取り組みの評価(総評)

【総評】

目標値(製造品出荷額)500億円に対し、各年度とも実績値が届かず、達成評価はBとなった。主な要因としては、電子部品の製造品出荷額が大きく減少しており、自動車向けマイコン等の半導体製造を行っていたルネサス高知工場の出荷減少が一つの要因として考えられる。
商業分野において、製造品出荷額500億円という目標値に対して寄与できるような取組や施策を実施することができず、商業分野独自の目標設定が必要であり、第2期産業振興計画では商業分野独自の数値目標を設定する。
商業分野の第1期の取り組みとしては、市内で創業しやすい風土を作るために、創業支援事業計画の策定や創業支援利子補給金事業等を実施し、創業者への支援を強化した。また、近年増加する空き店舗対策として、空き店舗補助金や空き店舗マッチングサイト等を実施したが、補助金の活用は1件にとどまるなど、大きく進展させることができなかった。一方で、市内飲食店等を市民の方に知ってもらい、足を運んでいただくために香南カーニバルを開催するなど、地域商業の活性化に向け、地域商業者を巻き込んだ新たな形での取り組みも始まった。
今後は、商業分野独自の目標設定を行い、増加する空き店舗の対策、経営者の高齢化による廃業の増加など、地域の商業機能を維持・発展させるための施策に取り組んでいく必要がある。

戦略の柱	◆ 取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)	
	事業名称	目標値						A/B/C		
商業支援	○ 具体的な取組 (P)	実績値								
	◆ 既存企業の育成・支援									
	1. 香南市緊急融資保証料補給金事業 【利用実績(金額)】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27) - (H28) 保証料を補給 (H29) 同上 (H30) 同上 7年満期分 20,000円 10年満期分 30,000円	目標値	-	355,170円	355,170円	50,000円	760,340円	C	毎年度、高知県信用保証協会と補給金交付契約書を締結し、県緊急融資を受けた事業者分の保証料補給を実施した。 また、商工会や金融機関への周知を行い、緊急融資を必要としている事業者への案内を実施した。	
		実績値	-	13,205円	19,308円	27,198円	59,711円			
		達成(評価)	-	C	C	C	-	-		
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 高知県信用保証協会や商工会等と連携し、市内中小事業者の経済的負担の軽減を図ることができた。							
	2. 魅力のある商業地・商店街づくり	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27) 商工会との協議 (H28) 商工会との協議 (H29) パル実行委員会の設立 (H30) 香南パルの開催 (目標子ケツ販売数:500セット) ※1セット(5枚綴り) 3,500円	目標値	商工会との協議	商工会との協議	パル実行委員会の設立	パル子ケツ500セットの販売	-	A	実行委員会を開催し、企画内容等の協議や南国パルの視察等を行い、平成29年度に第1回目の香南カーニバルを開催した。 パル告知として、市や商工会のHP、チラシ等を活用するとともに、SNSでの発信も積極的に実施した。	
		実績値	3回実施	4回実施	設立	537セットの販売	-			
	達成(評価)	A	A	A	A	-	-			
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) パル実行委員会を立ち上げ、平成30年度に第1回香南カーニバルを実施し、参加店舗への来店機会の創出やPRIにつながった。 近隣2市よりも後発となったが、市内協賛企業の協力を得て、抽選で特典が当たる等、差別化を図った。								
新	3. のいち駅周辺商店アンケート調査	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
(H27) - (H28) - (H29) - (H30) アンケート調査の実施	目標値	-	-	-	調査の実施	-	A	平成30年12月から翌年2月にかけてのいち駅周辺店舗(107件)を訪問し、アンケート調査を実施。		
	実績値	-	-	-	実施済	-				
	達成(評価)	-	-	-	A	-	-			
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 平成30年度にのいち駅周辺の商店に対してアンケート調査を実施し、107件のうち57件から回答を得た。アンケートからは、現状の経営に満足していない傾向にあるが、どのような方法で取り組めばいいか悩んでいる傾向があり、「学びの機会」づくりを行う必要がある。								

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)
	事業名称		目標値						A/B/C	
	○具体的な取組(P)		実績値							
商業支援	4-1. 空き店舗等の活用 【補助金交付】(件数) (H27) 今後についての検討開始 (H28) 空き店舗対策事業費補助金開始 【参考】 市：補助率2/10 上限 400千円 ※県：補助率1/2 上限 1,000千円 (H29) 同上 (H30) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
		目標値	-	2件	2件	2件	6	C	市内不動産事業者や金融機関への説明や市HP等へ掲載し制度の周知を図った。 活用件数が少ないため、平成31年4月に要綱の見直しを行い、要件緩和を実施した。	
		実績値	-	0件	0件	1件	1			
		達成(評価)	-	C	C	C	-			-
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 平成28年度に当補助金を創設したが、これまでの利用件数は1件のみとなっている。創業希望者への周知が十分でないこと等が要因と考えられる。							
	4-2. 空き店舗等の活用 【事業承継診断の実施】(件数) (H27) - (H28) - (H29) - (H30) 事業承継診断	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
		目標値	-	-	-	30件	30	B	高知県事業承継ネットワーク事務局と商工会が連携し、会員のうち60歳以上の経営者に対して、事業承継診断を実施した。	
		実績値	-	-	-	28件	28			
		達成(評価)	-	-	-	B	-			-
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 平成30年度から取り組みを始めたが、今後さらに経営者の高齢化等により事業承継が重点課題となるため、今後も継続して事業承継診断の実施や各支援窓口へのあせせん等を実施していく必要がある。							
	4-3. 空き店舗等の活用 【商工会HPへの空き店舗物件の掲載】 (掲載件数/延べ数) (H27) 商工会HPへの空き店舗物件掲載数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
		目標値	10件	10件	10件	10件	10	C	商工会HPに「空き店舗マッチングサイト」の開設を行うとともに、市内不動産事業者等に訪問し物件情報の共有等を実施した。	
実績値		2件	2件	2件	4件	4				
達成(評価)		C	C	C	C	-	-			
精査(C)		【4年間の取組精査】(第1期精査) 市や商工会HPに空き店舗情報を掲載するなど空き店舗情報の発信を行っているが、市内不動産事業者が保有する物件は数が少なく、目標件数には至っていない。 市内には住宅兼店舗という形態も多くあることや市として「空き店舗」という定義を確立させることができていない。								
5. 創業支援【ワンストップ窓口相談件数】 (H27) 創業支援計画の策定 (H28) 同上 (H29) ワンストップ窓口・創業に関する商工水産課と商工会への相談件数 23件 (H30) ワンストップ窓口・創業に関する商工水産課と商工会への相談件数 32件	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容		
	目標値	策定準備	策定準備	23件	32件	55	A	平成28年8月に創業支援事業計画が認定されワンストップ窓口の設置等を実施した。特定創業支援事業証明書は、累計2件の発行となっている。		
	実績値	-	策定準備	32件	32件	64				
	達成(評価)	-	A	A	A	-			-	
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 創業支援計画を策定し、その計画に基づき、市商工水産課にワンストップ窓口の設立や特定創業支援事業証明書の発行を実施した。創業の相談は商工会が圧倒的に多く、市商工水産課への問い合わせは非常に少なくなっている。								
6. 創業支援利子補給金交付事業 【利用件数】 (H27) - (H28) - (H29) 利用件数 (26,000円) (H30) 利用件数	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容		
	目標値	-	-	3件	3件	6	B	市内金融機関や不動産事業者を訪問し、事業説明するとともに、市HP等で情報発信を実施した。		
	実績値	-	-	2件	3件	5				
	達成(評価)	-	-	B	A	-			-	
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 目標件数には至っていないが、創業時に係る経済的負担を軽減することができた。次期計画においても香南市で創業しやすくなるよう事業の継続を行う。								

◆第1期香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧(H27-H30)

【工業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	精査値 (※1)	4年間の 達成評価	備考
製造品出荷額 (億円)	目標値	500以上	500以上	500以上	500以上	500以上	2,000 億円	B	【根拠数値】 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月末に公表されるため、実績値は、調査の対象機関の関係で、前年の製造品出荷額を記載。 ※1 ・精査目標値 H27-H30の累積目標値 ・精査実績値 H27-H30の累積実績値
	実績値	419	396	371	397		1,583 億円		
	達成 (評価)	B	B	B	B			79.15%	

■取り組みの評価(総評)

【総評】

目標値(製造品出荷額)500億円に対し、各年度とも実績値が届かず、達成評価はBとなった。
 主要要因としては、電子部品の製造品出荷額が大きく減少しており、自動車向けマイコン等の半導体製造を行っていたルネサス高知工場の出荷減少が一つの要因として考えられる。
 工業分野の戦略の柱となる「ものづくりの基盤整備」において、香南工業団地の完売、ルネサス高知工場が丸三産業(株)に譲渡決定するなど、目標が達成され、立地企業の「会社説明会・面接会」を県やハローワークと連携して開催することで、多数の参加と地元雇用の確保に繋がった。
 また、若年層にニーズの高い事務系職種の実業誘致を推進するため、空き店舗等を有効活用した商店街の活性化や移住・UJターン促進にも繋がる助成制度を12月に制定し、空き店舗等の物件調査と包括連携協定を締結したイシン(株)と連携して首都圏企業への誘致活動を行うなど、新たな企業誘致の取組を進めることが出来た。
 一方、「ものづくり」においては、行政や企業間の情報交換の場として香我美町立地企業交流会や香南市ものづくり会を開催し、各種支援事業の紹介や「働き方改革セミナー」、「人材育成」などの講演を行うことで内容の充実を図ったものの、各種支援事業については実績値が目標値に達していない事業が多く、周知不足や補助金交付要綱の見直しを行うなど、課題を残すこととなった。
 今後は丸三産業(株)香南工場のフル操業開始(R2.1月予定)に向けて、安定的な工業用水の供給について地域や関係団体との調整に努めるとともに、刈谷工場用地が早期分譲となるよう引き続き県と連携し、企業誘致や立地後の雇用支援に取り組んで行く必要がある。
 また、企業訪問を継続して行うことで既存企業の現状や課題を把握し、ニーズに合った事業紹介や事業拡大に繋がる企業支援制度の見直しを行うことで雇用の促進と生産性の向上を図るとともに、事務系企業誘致を加速するべく空き店舗等の物件調査を継続し、首都圏企業のニーズにあった物件提供や、イシン(株)との連携による企業誘致により、早期の企業立地に繋がる取組を進める。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)
	事業名称	目標値							
	○具体的な取組(P)	実績値							
ものづくりの基盤整備	◆企業誘致の促進								
	1. 香南工業団地整備事業 【販売区画数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	(H27) 区画の早期完売 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 残り1区画(A区画)の早期完売	目標値	1件/年	2件/年	1件/年	1件/年	5	A	5区画完売 【H27年度】第十工業(H28.3.1竣工) 【H28年度】(株)精工(H29.1.13竣工) / YAMAKIN(株)(H29.3.31竣工) 【H29年度】(株)泉井鉄工所(H29.7.31竣工) 【H30年度】みずまる加工(株)(H31.3.29竣工)
		実績値	1件	2件	1件	1件	5		
	達成 (評価)	A	A	A	A	-	-		
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 県との共同開発による香南工業団地については、平成26年度より分譲を開始し、企業立地セミナーへの参加や県と連携して分譲交渉を行うことで全区画(5区画)を完売し、雇用の場創出と生産性の向上を図ることが出来た。 今後は新規の工業団地を整備するべく候補地の選定と適地調査を実施し、新たな企業立地の推進を図る。							
	2. 香南工業団地企業立地促進事業 【採用数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
(H27) 立地企業への雇用促進及び産業の活性化を図る。 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上	目標値	-	-	-	25人	-	A	新規雇用者70人(内地元雇用36人) ・第十工業…2人(1人) ・(株)精工…40人(20人) ・YAMAKIN(株)…15人(10人) ・(株)泉井鉄工所…4人(2人) ・みずまる加工(株)…9人(3人)	
	実績値 ()は地元雇用	-	42人 (21人)	19人 (12人)	9人 (3人)	70人 (36人)			
	達成 (評価)	-				C	-		
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 香南工業団地への立地企業(5社)が立地の際の負担を軽減するべく、新規雇用の半数以上を地元雇用することを要件に土地取得金額の10%補助を行った。 雇用に当たっては、市及び県、ハローワークと共同で企業説明会・面接会を開催するなど、雇用支援を行うことで、各企業とも新規雇用者の半数以上が地元雇用に繋げることが出来た。 引き続き既存企業の育成支援を重要施策として位置づけ、雇用の促進と生産性の向上に繋がるために必要な企業支援制度の見直しを次年度より行う。							

戦略の柱	◆取り組みの柱						年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)	
	事業名称 ○具体的な取組(P)	目標値										A/B/C			
		実績値													
まちづくりの基盤整備	3-1. ルネサス高知工場及び川谷刈谷工場用地【ルネサス高知工場】(譲渡件数) (H27) - (H28) 譲渡にむけた取組 (H29) 同上 (H30) ルネサス従業員の雇用確保及び事業承継先の確保	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容						
		目標値	-	1件	1件	1件	1	A	丸三産業(株)に譲渡決定 ・譲渡契約締結(H30.9.28) ・市との企業進出協定締結(H30.10.4) ・会社説明会・面接会の開催(H30.11.17~18)						
		実績値	-	0件	0件	1件	1								
		達成(評価)	-	C	C	A	-	-							
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) ルネサス高知工場の平成30年5月末工場閉鎖発表を受け、ルネサス社においては銀行や証券会社等の様々なルートを通じたアプローチ先の掘り起こしや現地視察の受け入れをするなど、承継先の確保に精力的に取り組んだことや、県と連携して交渉を行ったことで丸三産業(株)へ工場の譲渡することができた。 また、市及び県、ハローワークと共同で企業説明会・面接会を開催(2日間で約150名の参加)するなど、ルネサス高知工場の元従業員や協力企業の方で、県内の再就職先が決まっていないう方に対しても雇用に繋げることが出来た。 今後は丸三産業(株)のフル操業開始(R2.1月)に向けて工業用水の安定的な供給と、雇用支援に取り組んでいく。												
	3-2. ルネサス高知工場及び川谷刈谷工場用地【川谷刈谷工場用地】(譲渡件数) (H27) - (H28) 譲渡にむけた取組 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元)	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容						
		目標値	1件	1件	1件	1件	1	C	分譲候補企業と分譲契約に向けて調整中 ・ルネサス高知工場と一体で企業誘致 ・ルネサス高知工場譲渡後、単独で再公募(H30.4.23) ・工業用水使用を条件から除外し再公募(H31.1.15) ・分譲申込後、選定委員会を開催(H31.3.18) ・現在分譲契約に向けて調整中						
		実績値	0件	0件	0件	0件	0								
		達成(評価)	C	C	C	C	-	-							
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) ルネサス高知工場撤退発表以後は、ルネサス高知工場の従業員の雇用の維持、継続も視野に入れて活用することが和解契約にも明記されていたことから、ルネサス高知工場と一体で分譲交渉を行っていたが、ルネサス高知工場の丸三産業(株)への譲渡決定後は、川谷刈谷工場用地を単独且つ香南工業用水の使用を条件から外して再公募を行ったことで分譲申込があり、現在分譲候補企業と分譲契約に向けて調整を行っている。 今後は引き続き県と連携して早期分譲に努めるとともに、用地周辺の整備と立地後の操業及び雇用支援を行っていく。												
	4. 企業立地優遇制度の策定【誘致企業数】 (H27) - (H28) - (H29) - (H30) ①条例の策定 ②奨励措置の新設	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容						
		目標値	-	-	-	制度策定	-	A	事務系職種企業の企業誘致助成制度を制定 ・宮崎県日南市への先進地視察(H30.9.26~27) ・イシン(株)との包括連携協定締結(H30.12.18) ・香南市情報サービス施設等設置促進事業費補助金を制定(H30.12.26) ・空き家・空き店舗物件調査(13件) ・首都圏企業訪問6社(H31.2.6~7)						
実績値		-	-	-	制定済	-									
達成(評価)		-	-	-	A	-	-								
精査(C)		【4年間の取組精査】(第1期精査) 若年層にニーズの高い事務系職種の企業誘致を推進するため、空き店舗等を有効活用した商店街の活性化や移住・UJターンの促進にも繋がる助成制度を平成30年12月に制定し、空き店舗等の物件調査と包括連携協定を締結したイシン(株)と連携して首都圏企業への誘致活動を行うなど、新たな企業誘致の取組を進めることが出来た。 今後は事務系企業の早期立地に向けて空き店舗等の物件調査を継続し、首都圏企業のニーズにあった物件提供を行うとともに、引き続きイシン(株)と連携して早期の企業立地に繋がる取組を進める。													

戦略の柱	◆取り組みの柱							4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)	
	年度	H27	H28	H29	H30	計	A/B/C			
	事業名称	目標値								
	○具体的な取組(P)									
εへいせ	◆既存企業の育成・支援									
	1. 香南市香我美町企業立地交流会【開催回数】 (H27) 交流会の開催 (H28) 同上(8企業:14名) (H29) 同上(8企業:13名) (H30) 同上(8企業:10名)	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
		目標値	1回	1回	1回	1回	4	A	交流会の開催 【H27年度】9企業15名参加 【H28年度】8企業14名参加 【H29年度】8企業13名参加 【H30年度】8企業10名参加	
		実績値	1回	1回	1回	1回	4			
		達成(評価)	A	A	A	A	-	-		
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 行政や企業間の情報交換の場として香我美町立地企業交流会を開催し、各種支援事業の紹介や「働き方改革セミナー」、「被災時における自衛隊の活動について」などの講演を行うことで内容の充実を図った。 また、ルネサス社と関連会社である2社が退会したが、香我美町に新たに立地した3社が入会した。 今後はH31年度より操業開始を予定している丸三産業(株)及びみすまる加工(株)に入会を勧めるとともに、企業訪問により雇用や経営状況、課題等を把握することで支援策への反映と、香南市ものづくり会との合同開催による懇談会の内容充実を図る。								
	2. 香南市ものづくり会【開催回数】 (H27) 会の開催 (H28) 同上(6企業6名) (H29) 同上(未実施) (H30) 同上(7企業8名)	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
		目標値	1回	1回	1回	1回	4	B	交流会の開催 【H27年度】7企業8名参加 【H28年度】6企業6名参加 【H29年度】未実施 【H30年度】7企業8名参加	
		実績値	1回	1回	0回	1回	3			
		達成(評価)	A	A	C	A	-	-		
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 行政や企業間の情報交換の場として香南市ものづくり会を開催し、各種支援事業の紹介や高知職業能力開発短期大学校と連携し、「若者の人材育成を考える」講演や施設見学を行うことで内容の充実を図った。 今後は会員企業への企業訪問により雇用や経営状況、課題等を把握することで支援策への反映と、香我美町立地企業交流会との合同開催による懇談会の内容充実を図る。								
	3. 香南市産業人材育成事業【交付件数】 (H27) 交付 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上(対象事業を拡充)	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
目標値		5件	5件	5件	5件	20	C	人材育成研修への参加費用助成 【H27年度】0件 【H28年度】0件 【H29年度】1件 【H30年度】1件 ・補助金交付要綱の一部改正(事業拡充) ・県内3大学へ事業説明 ・企業交流会、企業訪問での事業紹介 ・市HP掲載及び商工会チラシ同封による周知		
実績値		0件	0件	1件	1件	2				
達成(評価)		C	C	C	C	-	-			
精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 産業人材のスキルアップ及び企業の発展に繋げることを目的として、市内企業の人材育成に係る研修への参加、講師招聘に係る経費を補助する制度を平成27年度より制定した。制定以降、利用件数が伸び悩んだことから補助要綱を一部改正するなどし、事業の拡充を図ったことで利用件数が伸びてきている。 令和元年度より高知職業能力開発短期大学校と連携し、人材育成に係る研修の開催や企業訪問、懇談会等で周知を行い、さらなる利用件数の増加を目指すこととする。									

戦略の柱	◆取り組みの柱						年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)
	事業名称						目標値						A/B/C	
	○具体的な取組(P)						実績値							
まちづくり	4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業【交付件数】						年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	(H27) 交付 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上						目標値	10件	10件	10件	10件	40	C	奨学金返還助成 【H27年度】0件 【H28年度】0件 【H29年度】0件 【H30年度】0件 ・補助金交付要綱の一部改正(事業拡充) ・企業交流会、企業訪問での事業紹介 ・県内3大学へ事業説明 ・市HP掲載及び商工会チラシ同封による周知
							実績値	0件	0件	0件	0件	0		
							達成(評価)	C	C	C	C	-	-	
							精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 人材の確保と市内への定着を図ることを目的に、市内事業所に雇用された方が借り入れた奨学金の一部を助成する制度を平成27年度より制定した。 制定以降、市内事業所や県内3大学に事業説明を行ったが、対象となる学生がいなかったため、令和元年度より要綱を一部改正し、対象業種を拡充して利用の促進を図っている。 今後、利用が無い場合は制度を廃止し、新たに市への定住促進事業として奨学金助成事業を検討する必要がある。						
	5. 香南市インターンシップ支援事業【交付件数】						年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	(H27) 交付 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上						目標値	10件	10件	10件	10件	40	C	市内事業所へのインターンシップ受入助成 【H28年度】0件 【H29年度】0件 【H30年度】0件 ・企業交流会、企業訪問での事業紹介 ・県内3大学へ事業説明 ・市HP掲載及び商工会チラシ同封による周知
							実績値	0件	0件	0件	0件	0		
							達成(評価)	C	C	C	C	-	-	
							精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 求人と求職のミスマッチを解消し、市外・県外等からの雇用確保を図ることを目的として市内事業所にインターンシップを受け入れる際の宿泊費の一部を補助する制度を平成28年度より制定した。 制定以降、市内事業所や県内3大学に事業説明を行ったが、市内企業へのインターンシップは宿泊を要しないケースが多く、制度の目的と相違があることから平成30年度で廃止した。 また、雇用確保に繋がる新規事業として、令和元年度に城山高校で地元企業による合同説明会の開催を予定している。						
	6. 中小企業者の生産性向上支援事業【認定件数】						年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) - 中小企業者の先端設備等導入計画の認定						目標値	-	-	-	30件	30	C	先端設備等導入計画認定 【H30年度】8件 ・導入促進基本計画策定(H30.6.19) ・市税条例の一部改正(H30.6.26) ・市HP掲載及び商工会チラシ同封による通知 ・企業訪問による事業紹介
						実績値	-	-	-	8件	8			
						達成(評価)	-	-	-	C	-	-		
						精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 生産性向上特別措置法に基づき、市内中小企業の設備投資を後押しするため、導入促進基本計画を策定し、生産性向上に繋がる設備を新規取得した場合、3年間固定資産税をゼロに減免することとした。 各企業からの先端設備等導入計画の受付期間はH30.6.26～R3.3.31となっており、期間中の積極的な設備投資を推進しているが、一定の投資費用が必要となることから目標値に届いていない。 今後は企業訪問、懇談会等で周知を行い、利用件数の増加を目指すこととする。							

◆ 第1期香南市産業振興計画 数値目標及びKPI評価書

【観光分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	精査値 (※1)	4年間の 達成評価	備考
観光施設入込客数 (万人/暦年)	目標値	100以上	100以上	120以上	120以上	120以上	440.0 万人	B	【根拠数値】 ・実績値は暦年合計(H27～H30) ・対象施設11か所(418.9万人) ①のいち動物公園・・・654,926 ②月見山こどもの森・・・94,850 ③ヤ・シィパーク・・・1,255,583 ④絵金蔵・・・・・・・・・・40,119 ⑤香南市サイクリングターミナル (宿泊者以外)・・・8,085 ⑥天然色市場・・・・・・158,341 ⑦やすらぎ市・・・・・・844,794 ⑧あぐりのさと・・・・・・82,616 ⑨黒潮温泉・・・・・・443,996 ⑩アクトランド・・・・・・318,608 ⑪土佐カントリークラブ・・・288,462 ※1 ・精査目標値 H27-H30の累積目標値 ・精査実績値 H27-H30の累積実績値
	実績値	100.3	104.7	107.7	106.2		418.9 万人		
	達成 (評価)	A	A	B	B			95.20%	

■取り組みの評価(総評)

【総評】

目標値100万人(観光施設入込客数)に対し、平成27・28年度においては達成しており、「志国高知 幕末維新博」の開幕に合わせ平成29年2月に120万人へと上方修正を行ったが、修正後は目標達成に至らなかった。
 さらに平成30年度には悪天候や豪雨災害、天然色市場の休業の影響により初めて前年度実績を下回る結果となった。

今後は、既存のイベントと合わせて、天候に左右されない集客確保に向けた取り組み強化を行い、新規顧客の開拓やリピーターの増加を目指すことと、SNSの活用など情報発信の仕組み作りの構築に向けて取り組む。

また、平成30年度には観光拠点の磨き上げ事業として、ヤ・シィパークランドデザインの策定とグランピング等の整備を実施。
 今後は、それらを活かした施設や同線等の再整備、イベント等を企画し、ヤ・シィパークを中心に周辺地域などを周遊できる仕組みづくりに取り組む。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)	
	事業名称	目標値								A/B/C
	○具体的な取組(P)	実績値								
核となる観光拠点の形成	◆企業誘致の促進									
	1. 三宝山エリア観光拠点化事業 【新たな拠点数】		年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	[三宝山観光拠点化基本構想磨き上げ検討事業] (H25)～(H28)		目標値	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所	1	C	◇[三宝山観光拠点化基本構想磨き上げ検討事業] 【H25年度の取組】・・・夢のアイデア募集 【H26年度の取組】・・・三宝山基本構想の検討 【H27年度の取組】・・・基本構想の磨き上げる会 【H28年度の取組】・・・三宝山観光拠点化基本計画の策定にむけた取組を実施 ◇[三宝山観光拠点化基本計画の策定] 【H29年度の取組】・・・土地・建物所有者との無償賃借契約の締結 【H30年度の取組】・・・香南市三宝山周辺エリア広域観光ビジョン検討委員会の開催 →基本計画の整備計画の見直しを行い、三宝山の頂上だけでなく、中腹やふもとにある観光施設との連携や風力発電地跡等の活用など、三宝山エリア全体での観光拠点化を目指すことを確認。
	[三宝山観光拠点化基本計画の策定] (H29)～ (H30)基本計画の精査・調整を踏まえた 実施計画の策定		実績値	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0		
			達成 (評価)	-	-	-	-	-		
			精査 (C)	香南市のシンボルである三宝山を観光拠点施設として整備するとともに、近隣の観光施設等と連携して、いろいろな楽しみ方ができる体験観光エリアをすることにより、県内外からの観光客の増加を目指して取り組みを行った。当初は三宝山の山頂のみの整備計画だったが、山頂に加えて三宝山全体を一体的に開発する計画に転換し、山頂部分の開発については、地元企業が主体となって進めていくことになった。今後は行政としてできる限りの伴走支援を実施する。						
	2. ヤ・シィパーク周辺地域の活性化 【リョーマの休日～自然&体験キャンペーン に向けた準備等】		年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	(H27)～ (H28)～ (H29)～ (H30)自然体験型キャンペーンに向けた整備 【ランドデザインの策定等】		目標値	-	-	-	策定	-	A	・ヤ・シィパーク将来構想検討会の開催(H29) ・ヤ・シィパーク活性化協議会の開催(H30) ・ヤ・シィパーク等を活用した観光コンテンツの 開発産業振興アドバイザーの招へい(H29:3回) ・ランドデザインの策定、備品購入、イベントの開催
			実績値	-	-	-	策定済	-		
			達成 (評価)	-	-	-	A	-		
		精査 (C)	ヤ・シィパーク将来構想を検討し、平成30年にランドデザインを策定することで、今後のヤ・シィパークの整備に向け前進した。 また、観光拠点化補助金の活用により体験メニューの造成に向けた整備ができた。 今後はヤ・シィパーク活性化協議会でマリンアクティビティやサイクリング事業、物部川流域の旅行商品化に向けた取組など、ソフト面での戦略づくりを行っていく。							

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)	
	事業名称	目標値						A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値								
核となる観光拠点の形成	3. manamanaの取組について【売上高】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27) 着手 (H28) 開店 (H28.7.23 ~ H29.3) (H29) 売上高の向上に向けた取組 (H30) 同上	目標値	-	47,934 千円	51,022 千円	52,578 千円	211,245	C	・生産体制の強化(加工所兼店舗の整備) ・販促活動の出展 商談会への参加(H29:4回、H30:2回) パンフレット作成、包装フィルムの改良	
		実績値	-	10,628 千円	16,356 千円	26,868 千円	53,852			
		達成(評価)	-	C	C	C	-	-		
		精査(C)	ショップの売上は販促活動の強化により取引先が増加し、売上の増加につながっている。特に、平成30年の高島屋のお中元ギフトへの採用は売上増加に大きく寄与している。今後は運営体制強化のためのOJTによる人材育成と売上増に向けた店舗の新メニューの開発や外販の強化に取り組む。							
広域観光の推進	◆観光の振興	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	1. 歴史を中心とした博覧会【幕末維新博対象施設入込数】(絵巻蔵12,000人 / アクトランド130,000人)	目標値	142,000人	142,000人	142,000人	142,000人	568,000	C	【H29年度の取組】 ・維新博補助金を活用し、絵巻蔵映像システム構築業務契約 【H30年度の取組】 ・地域会場メインのPDCAシートを作成 ・周辺施設と連携した誘客策を実施。 ・HPやSNS等を活用するとともに、推進協議会が発行する「かわら版」等とも連携した情報発信。 ・アクトランドでは、県外のSA等でのパンフレット配架に継続して取り組んだ。	
	(H27) 入館者数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上	実績値	4,489人	5,270人	96,770人	110,646人	217,175			
		達成(評価)	C	C	B	B	-	-		
		精査(C)	平成29年3月に開幕した「志国高知 幕末維新博」の地域会場(絵巻蔵・創造広場「アクトランド」)を中心に集客増を図った。県市協働のもと地域会場メインのPDCAシートを作成し、通年にかけて、様々な企画展、イベントを実施した。目標達成には至らなかったものの、入込数は大幅に増加し、今後も継続した企画展の実施・PR等取り組んでいく。							
	2. 観光施設間の連携【香南市観光施設連絡会の回数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27) 開催 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 香南市観光施設連絡会の開催	目標値	-	-	-	4回	-	B	・歴史のリアル化、クラスター化についての協議 ・観光客向けの周遊アンケートを作成し、観光客の実態、需要を把握する仕組みを確立 ・新たなサイクリングコースを検討、試走し、パンフレットを発行 ・市内各地域の観光施設や宿泊施設等の相互交流や活動の活性化を行い、市内への誘客や周遊促進 ・インバウンドモデルコースの協議	
		実績値	7回	9回	4回	3回	23			
		達成(評価)	-	-	-	B	-	-		
		精査(C)	香南市観光施設連絡会は市内の行政と主要観光施設・宿泊施設等の連携・情報共有を目的として開催し、新たなサイクリングコースの設置など市内周遊に向けての活動を行った。「志国高知 幕末維新博」の取組を通じた、県内に存在する歴史資源の磨き上げ(リアル化)や、磨き上げた歴史資源を含めた観光資源を一体的に周遊できるコース(観光クラスター)の整備に取り組んだ。今後は宿泊施設と観光施設をつなぎ、自然体験を絡めた観光クラスター作りや連携した事業展開を行う。							
3. 歌舞伎でまちおこし【イベント参加者数(延べ)】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容		
(H27) 各催し物等の開催 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上	目標値	-	4,060人	4,320人	2,150人	10,530	A	【H27年度の取組】・・・市川海老蔵公演、小中学生を対象とした出前講座、市民による歌舞伎ワークショップ 【H28年度の取組】・・・土佐絵金歌舞伎公演、伝統芸能を中心とした講演会の開催、市民による歌舞伎を活用したコミュニティ事業 【H29年度の取組】・・・土佐絵金歌舞伎公演・伝統芸能を中心とした講演会の開催、市民による歌舞伎を活用したコミュニティ事業 【H30年度の取組】・・・土佐絵金歌舞伎公演・伝統芸能を中心とした講演会の開催、市民による歌舞伎を活用したコミュニティ事業、香南市婚活セミナー		
	実績値	-	5,304人	4,781人	1,709人	11,794				
	達成(評価)	-	A	A	B	-	-			
	精査(C)	ワークショップや出前講座を継続して実施し、地域の学生や住民に対して「歌舞伎」に触れる機会の創出を行った。H27の歌舞伎俳優市川海老蔵公演をはじめ、継続した歌舞伎公演を行い、歌舞伎を核とした地域づくりに繋げた。H30からは、文化庁等の補助金を活用せず、「歌舞伎でまちおこし実行委員会」の自主財源や公演収入内で実施できる事業に取り組んでいる。今年度は歌舞伎関係の体験メニュー化・人力車の導入に向けて協議を行う。								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)	
	事業名称	目標値						A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値								
広域観光の推進	4. 塩の道を活用した取組 【参加者数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27) - (H28) 土佐塩の道の整備、保全を行い、歴史遺産または、文化遺産として次世代に継承するとともに、交流人口の拡大や地域活性化を図る。 (H29) 同上 (H30) 同上	目標値	-	-	-	500人	-	A	【H28年度の取組】 ・トレイルランニング(10/2:205人) ・30kmウォーク(3/26:65人) ・他ガイド育成の取組等:53人 【H29年度の取組】 ・トレイルランニング(10/1:544人) ・30kmウォーク(3/24:99人) ・他ガイド育成の取組等 【H30年度の取組】 ・塩の道トレイルランニングレース2018(10/7:291人) ・30kmウォーク(3/23:104人) ・ガイド等:200人	
	実績値	-	323人	480人	595人	1,398				
	達成(評価)	-			A	-	-			
	精査(C)	土佐塩の道の整備、保全を行い、歴史遺産または、文化遺産として次世代に継承するとともに、交流人口の拡大や地域活性化を図った。 今後はトレイルランニングレースのイベントとしての拡大を図るため運営方法の協議を行う。								
	5. サイクリング事業 【レンタサイクル貸出人数】(3か所) 1.サイクリングターミナル 2.のいち駅 3.アクトランドの合計	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	※サイクリングに特化した取組は別ページに記載 (H27) - (H28) レンタサイクル利用者増に繋げる取組 (H29) 同上 (H30) 同上	目標値	-	1,000人	1,800人	2,100人	4,900	A	各取組の詳細はサイクリング専門委員会の資料に記載。	
	実績値	-	1,714人	2,060人	2,156人	5,930				
	達成(評価)	-	A	A	A	-	-			
	精査(C)	各取組の詳細はサイクリング専門委員会の資料に記載。								
	6. 物部川エリア広域観光連携事業 【対象施設の入込客数】(9箇所) 1.県立のいち動物公園 2.創造広場「アクトランド」 3.絵金蔵 4.西島園芸団地(南国市) 5.県立歴史民俗博物館(南国市) 6.香美市立やなせたかし記念館 アンパンマンミュージアム(香美市) 7.龍河洞(香美市) 8.べふ峡温泉(香美市) 9.ザ・シックスタイヤリーかほく ホテルアンドリゾート(香美市)	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27) 施設入込客数増に繋げる取組 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上	目標値	-	-	665,200人	711,000人	-	A	【H27年度の取組】・・・DMO設立にむけた取組 【H28年度の取組】・・・DMO設立・物部川フェスタの開催・(株)ものべみらい発足 【H29年度の取組】・・・フォトコンテスト開催、ミキハウス子育て総研による「ウェルカムファミリーの観光地」認定(全国初)・物部川流域観光パンフレット作製・各研修、フォーラムの参加や商談会への出店など実施。 【H30年度の取組】・・・ ・観光客動態調査によるデータ分析 ・ことりっふ作成やHP構築等によるターゲットに向けた情報発信 ・旅行会社へのセールス活動等を通じた旅行商品造成 ・高知大学と連携したツアーコース開発とモニターツアーの実施 ・エリア認定を主体とした企画・イベントの開催等	
	実績値	-	633,544人	745,319人	707,185人	2,086,048				
	達成(評価)	-	-	A	B	-	-			
	精査(C)	物部川流域3市の観光関係事業者等が連携して、広域観光組織「物部川DMO協議会」を設立し、ビッグデータを活用したマーケティングや、体験メニュー等の開発、広域観光のプロモーション・セールス活動、広域連携イベントの開催等に取り組み、エリアへの観光客増加に繋げている。 また、物部川DMO協議会を一般社団法人化し、令和元年度には第3種旅行業登録も予定しており、広域観光を推進する体制強化が進んでいる。								
7. 市民と地域資源の総力を結集した ビジネス支援事業 【カタログ売上額】 (カタログ販売額+ふるさと納税額)	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容		
(H27) - (H28) 売上高増の取組 (H29) 同上 (H30) 同上	目標値	-	3,200千円	20,000千円	104,000千円	127,200	A	【H28年度の取組】・・・既存の取組及びふるさと納税機能整理 【H29年度の取組】・・・ ・カタログ発行(1万部)・カタログ配布(1万部) ・サマーフェアチラシ発行(5,000部) ・こうなん健康チャレンジポイントの活用 ・各イベント等の出店強化等。 【H30年度の取組】・・・ ・通年カタログの発行(15,000千部)登録業者数45社、登録品目数211品 ・サマーフェアチラシ発行(平成30年6月:5,000部発行) ・こうなん健康チャレンジポイント継続活用		
実績値	-	2,861千円	71,520千円	119,753千円	194,134					
達成(評価)	-	B	A	A	-	-				
精査(C)	生産者こだわりの香南市の特産品を活用した商品、また香南市生まれの商品を、ギフトカタログ・ホームページ・各種メディア・情報誌・広報誌・イベント出店等を通じ、幅広い年齢層にPRを行った。季節折々の特産品やイベント情報等発信し、香南市の魅力を伝えた。 ふるさと応援寄附金事業では、市と観光協会が事業者との打ち合わせを重ね、返礼品の種類を増加させるとともにふるさとチョイスなどのサイトを活用し積極的にPRしており、売上が大幅に伸びている。									

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)
	事業名称	目標値						A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値							
広域観光の推進	8. 地域まるごと旅行商品の開発販売及びブランドオペレーター機能構築事業 【対象観光施設入込数】(7施設) 1. 県立のいち動物公園 2. 創造広場「アクトランド」 3. 高知県立月見山こどもの森 4. 絵金蔵 5. 弁天座 6. ヤ・シィパーク 7. 香南市サイクリングターミナル (宿泊数は除く)	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	(H27) 対象観光施設入込数増の取組 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上	目標値	-	700,000人	700,000人	700,000人	2,100,000	B	【H28年度の取組】・・・商談会への参加・塩の道トレイルランニングレースをはじめとするイベントの実施 【H29年度の取組】・・・商談会への参加・塩の道トレイルランニングレースをはじめとするイベントの実施 【H30年度の取組】・・・商談会への参加・塩の道トレイルランニングレースをはじめとするイベントの実施
		実績値	-	605,000人	620,000人	647,623人	1,872,623		
		達成(評価)	-	B	B	B	-	-	
		精査(C)	香南市のおすすめの観光素材を集め、「旅」の開発および販売を行った。各施設と連携し香南市での滞在と集客の拡大を図るとともに、イベント、商談会にも参加し香南市の知名度アップを図った。PR不足により最小催行人数に達せず催行中止となった企画もあり目標達成には至らなかったものの、毎年入込数は大きく増加している。						
人材の育成	◆おもてなしの向上 1. まちの案内人会【案内人会 会員数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	(H27) 会員数増加に繋げる取組を実施 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上	目標値	10人	10人	19人	26人	26	B	【H27年度の取組】・・・ 香南市内の各イベント等に参加し、参加者へ観光資源の説明などを実施。 【H28年度の取組】・・・ まちの案内人会 会員数の増加を図る。 【H29年度の取組】・・・ まちの案内人会 会員数の増加を図る。 ・県観光ガイド連絡協議会に加盟 ・ガイドスキルを作成 【H30年度の取組】・・・ まちの案内人会 会員数の増加を図る。 ・高知県観光ガイド連絡協議会HPの香南市案内会ページで活動状況を発信
		実績値	10人	10人	22人	23人	23		
		達成(評価)	A	A	A	B	-	-	
		精査(C)	新規会員獲得に向けての広報や研修会の参加による既存会員のスキル向上に取り組んだ。取組により会員数増加に繋がったが、高齢化や会員間のガイドスキルに差が生じており、依然として人手不足の問題がある。今後は継続して新規会員獲得に向けて取り組みを行うとともに、研修に参加しガイド機能の向上を図る。						
国際観光の推進	◆外国人観光客の受入体制づくり 1-1. 外国人観光客の受入体制づくり 【高知新港出店回数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) れんげいこうちの取り組みとして参加を開始。	目標値	-	-	-	5回	5	B	【H30年度の取組】 ・高知新港への出店(6/18中止 8/16 11/20) ・外国人観光客受入研修の実施(全体研修: 8/30 12施設18名参加 個別研修: 9施設) ・絵金蔵外国人観光客団体受入(4/25 72名・ 10/8 99名)
		実績値	-	-	-	3回	3		
		達成(評価)	-	-	-	B	-	-	
		精査(C)	高知新港で乗船客を対象とした地場産品の販売を行い、香南市のPRを行った。						
	◆外国人観光客の受入体制づくり 1-2. 外国人観光客の受入体制づくり 【外国人観光客受け入れ研修】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
(H27) - (H28) - (H29) - (H30) 外国人観光客受入研修を実施し、受入体制強化に向けた課題の洗い出しを実施。	目標値	-	-	-	-	-	-	B	【H30年度の取組】 ・外国人観光客受入研修の実施(全体研修: 8/30 12施設18名参加 個別研修: 9施設)
	実績値	-	-	-	1回	1回			
	達成(評価)	-	-	-	-	-	-		
	精査(C)	インバウンド需要増加に備え、市内業者を対象とした外国人観光客受入研修を実施し、外国人とのコミュニケーション向上を図った。							

◆ 第1期香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧(H27-H30) 【サイクリング分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	精査値 (※1)	4年間の 達成評価	備考
レンタサイクル 利用者数 (人/年)	目標値	-	1,000	1,800	2,100	2,300	4,900人	A	【概観数値】 ・対象施設3か所の貸出数 ①香南市サイクリングターミナル ②のいち駅 ③創造広場「アクトランド」
	実績値	-	1,714	2,060	2,156		5,930人		
	達成 (評価)	-	A	A	A			121.02%	※1 ・精査目標値 H27-H30の累積目標値 ・精査実績値 H27-H30の累積実績値

■ 取り組みの評価(総評)

【総評】

自転車を活用した取り組みとして、平成30年度に地域おこし協力隊を雇用し、市内のサイクリストや関係者に声掛けし、サイクリングを推進する団体「Maze-Cle(マゼクル)」を設立。
両者と連携し、健康増進と環境に配慮した取り組みやイベント、サイクルオアシスなどの環境整備といった取り組みを進めるとともに、イベント等への貸出や自転車教室の開催も含めたレンタサイクル利用増につなげてきた。
また、サイクルオアシスなどの環境整備といった取り組みを進めるとともに、サイクリングターミナル所有自転車の一部をニーズに沿ったものに入れ替えると共にイベント等への貸出や自転車教室の開催も含めレンタサイクル利用増につなげてきた。
以上のことから、一定の効果と主たる目標数値(レンタサイクル利用者数)は達成しているが、サイクルオアシスの新規設置について、問い合わせがあったものの県が指定する設置要件に沿わず設置に至っていない施設もあったため、容易に設置できるよう市独自の取り組みも考えていかなければならない等の課題が見えてきている。
また、現在の数値目標である「レンタサイクル利用者数」が香南市の産業振興に関わってくる数値としてふさわしいかについても、当委員会が協議を重ねていく必要がある。

戦略の柱	◆ 取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】	
	事業名称 ○ 具体的な取組(P)	目標値						A/B/C		
自転車を活用した観光への取組	◆ サイクリング事業	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	1. 各種イベントの開催 【イベント参加者数】 (H27)- (H28)- (H29)- (H30) イベント参加者数	目標値	-	-	-	500人	500	B	平成30年度のイベント ・ツール・ド・香南トレイン(観光協会主催) ・ホッパング(MAZE-CLE 主催) ・シクロロス(シクロロス実行委員会主催)等	
	実績値	-	-	-	459人	459				
	達成 (評価)	-	-	-	B	-	-			
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 各種イベントを通じて、サイクリストに香南市を訪れてもらえ、PRできている。 市内団体が主催するイベントが少ないことから、市独自のイベントを企画し開催することも考えていかなければならないと感じる。								
2. サイクリングに対するPR 【推進団体の設立件数】 (H27)- (H28)- (H29)- (H30) 香南市内にサイクリングを推進する団体の設立を目指し、PR活動を行う。	目標値	-	-	-	1件	1	A	4年間の取組内容 ・サイクリング専門の地域おこし協力隊の雇用。 ・サイクリングチームMaze-Cleの設立。 ・香南市PR用サイクルジャージの作製。 ・香南市サイクリングPR動画の作成。 ・県外のサイクルイベントへのブース出店。 ・市広報誌で自転車の推進ページの連載。 ・地域おこし協力隊で運営しているSNSで、自転車イベントや情報を発信。 ・「自転車を活用したまちづくりを推進する市区町村長の会」		
実績値	-	-	-	1件	1					
達成 (評価)	-	-	-	A	-	-				
精査 (C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 30年4月から雇用したサイクリング専門の地域おこし協力隊員を中心に、スピード感をもって取り組んでいる。									
自転車を活用した観光への取組	3. レンタサイクルの利用者推進 【レンタサイクル利用数】 (H27) レンタサイクル利用者数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上	目標値	-	1,000人	1,800人	2,100人	4,900	A	4年間の取組内容 ・サイクリングターミナル内の自転車更新による充実 ■更新車両… H28年度…クロスバイク4台、シティサイクル5台、子ども用3台 H29年度…クロスバイク4台、子ども用2台 H30年度…クロスバイク3台、子ども用5台、ロードバイク1台、タンデム2台 ヘルメット17個 ■車両計 29台	
	実績値	-	1,714人	2,060人	2,156人	5,930				
	達成 (評価)	-	A	A	A	-	-			
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) サイクリングブームの追い風もあること、ニーズにあった自転車を用意することによって利用者は順調に伸びてきている。								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	年度達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R元年度の取組について】	
	事業名称	目標値						A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値								
自転車を活用した観光への取組	4. サイクルオアシスの充実 【新規設置数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27) - (H28) - (H29) 新規サイクルオアシスの設置 (H30) 同上	目標値	-	-	-	5件	-	B	【H29年度の取組】 創造広場「アクトランド」、ヤ・シィパークに設置。 【H30年度の取組】 香南市サイクリングターミナル、羽尾大釜社、絵金蔵に設置。	
		実績値	-	-	2件	3件	5			
		達成(評価)	-	-	-	B	-			
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) サイクリストの施設立ち寄り増にもつながることから、一定の効果がでている。今後も観光施設、宿泊・飲食店など民間事業所に設置してもらい、サイクリスト・施設側の両方に利が出るように続けていく。								
障がいのある方や高齢者へのスポーツ推進	◆サイクリング事業	1. タンDEM自転車の利用強化 【利用件数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) 利用件数	目標値	-	-	-	50件	50	A	・タンDEM自転車の公道解禁に向けた警察との協議 ・9/1よりタンDEM自転車の一般公道走行が解禁。 同日に高知県警察本部と連携し、タンDEM自転車の試走会を サイクリングターミナルで実施。各メディアが取材をし放映。 ・東部自動車学校で、パイロット養成のための講習会を開催。	
		実績値	-	-	-	51件	51			
		達成(評価)	-	-	-	A	-			
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 健康者、視覚障害者などの隔たり無く利用できるタンDEM自転車は各方面から注目度が高い。イベント等への貸出なども積極的に行い、継続して香南市にはタンDEM自転車がある強みを周知していく。								
健康増進と環境に配慮した取組	◆サイクリング事業	1. 健康ポイントを活用した取組 【開催回数】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) 健康サイクリング開催	目標値	-	-	-	3回	3	A	【H30年度の取組】 ・香南市健康サイクリングの開催(5/27、6/24、8/5)3回実施 第1回 10kmコース 9人参加 第2回 12kmコース 7人参加 第3回 16kmコース 9人参加 延べ 25人参加	
		実績値	-	-	-	3回	3			
		達成(評価)	-	-	-	A	-			
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 実施数はクリアできているが、各回20人募集に対し参加者数が届いていない。参加者数増への取り組み内容の改定、告知方法を考えなくてはならない。								
健康増進と環境に配慮した取組	2. CO2の排出抑制 【地球温暖化対策実行計画内における目標数値の明確化】	年度	クリア	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) 市のCO2削減目標値の計画 環境対策課主管の地球温暖化対策 実行 計画に取組と目標数値を盛り込み推 進 していく。	目標値	-	-	-	目標数値の 明確化	-	-	担当課との協議	
		実績値	-	-	-	-	-			
		達成(評価)	-	-	-	C	-			
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) ・環境対策課と協議を行ったが、数値の算出方法や取組への準備等について、十分に詰めることができなかった。								
自転車の安全利用を推進する取組	◆サイクリング事業	1. 交通マナーや交通事故等へのリスクに 対する備え 【レンタサイクル貸出し時の ヘルメット貸出率】	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) レンタサイクル貸出し時のヘルメット 着用率を目標値として設定する。	目標値	-	-	-	100%	100	B	・レンタサイクル貸出し時の注意喚起の取組強化 ・サイクリングターミナルでの貸出し時に保険の紹介等、 注意喚起用のラミネートを作成し、貸出前に説明を 実施している。 ・「自転車安全利用五則」の推進を市広報誌・HP等で 推進。	
		実績値	-	-	-	69.33%	69.33			
		達成(評価)	-	-	-	B	-			
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) レンタル時に自前のヘルメットを持参する利用者もいたりし、目標値達成に至っていない。 また、別途料金を払ってもらいヘルメットレンタルをしてもらうことも弊害になっていることもある。 →R1年10月の利用料金改定時に自転車利用料にヘルメット分を含む形をとり、着用率アップに繋げている。								

◆ 第1期 香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧 (H27-H30) 【住宅分野】

数値目標		年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	4年間の達成評価	備考
-		目標値	-	-	-	-	-	-	-	-
		実績値	-	-	-	-	-	-	-	-
戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成(達成度合)	【4年間の取組内容】(D)	
	事業名称	目標値						A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値								
環境の整備	◆住環境の整備	1. 住宅リフォーム制度【利用件数】 ・香南市住宅リフォーム補助金 ※市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合に、その工事費用の20%(上限20万円)を補助。 (H27) 補助金交付(確定)件数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
		目標値	50件	50件	75件	75件	250	A	H27年度・H28年度は、補助金額10,000千円で実施。募集希望者が多く、抽選で決定した事もあり、H29年度から補助金額15,000千円に変更し、実施。	
		実績値	78件	66件	89件	100件	333			
		達成(評価)	A	A	A	A	-	-		
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 補助金交付額: 48,205千円 (H27年度・9,762千円、H28年度9,789千円、H29年度・14,092千円、H30年度・14,562千円) 住宅リフォーム補助金の需要は多く、市民の生活環境の向上が図られている。また、市内業者が施行する事が要件になっているため、市内経済の活性化に貢献している。							
市営住宅の整備	◆市営住宅の整備	1. 浄化槽等設置工事【工事件数】 ※生活環境の保全、及び公衆衛生の向上に向け、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として、手すり新設する。 (H27) 設置件数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
		目標値	16件	32件	30件	30件	108	C	単独浄化槽から合併浄化槽に変更し、福祉対応型住宅への改修のため手すりなどを設置。	
		実績値	10件	22件	14件	14件	60			
		達成(評価)	B	B	C	C	-	-		
		精査(C)	【4年間の取組精査】 (補助金額:H27年度10,000千円、H28年度20,104千円、H29年度11,251千円、H30年度12,029千円) 国庫補助金の変動により希望額に届かなかったことや、工事を行う際、居住者との工程協議により施工時期を長期で確保するため、件数が制限され、目標数値には至らなかった。							
住宅の耐震化	◆住宅の耐震化	1. 住宅耐震診断事業【利用件数】 ・香南市木造(非木造)住宅耐震診断費補助金 ※木造住宅…診断費用の自己負担3千円 非木造住宅…3万円補助 (H27) - (H28) 利用件数 (H29) 同上 (H30) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容
		目標値	100件	120件	120件	120件	480	B	市広報・HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、ふれあい祭りでブース展示	
		実績値	113件	127件	94件	83件	417			
		達成(評価)	A	A	B	B	-	-		
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) H28年度の熊本地震の影響等もあり近年問い合わせも多く、目標値に近い実績があったが、時間が経過するとともに申請件数は減少傾向にある。ただし、各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいたけように周知していく必要がある。							
	2. 住宅耐震改修費補助事業【改修設計、改修工事の件数】 ・香南市住宅耐震改修費等補助金 ※香南市「住宅耐震診断事業」による耐震診断を受診し、総合評価数が1.0未満と診断された住宅に対して、設計及び改修費用を補助。 (設計1棟あたり上限305千円、改修1棟あたり上限1,000千円) (H27) 改修設計及び改修件数 (H28) 同上(個別目標値を設定) (H29) 同上 (H30) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成(達成度合)	4年間の取組内容	
	目標値	-	・設計90件 ・工事90件	・設計90件 ・工事90件	・設計90件 ・工事90件	設計270 工事270	設計B 工事B	市広報・HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、ふれあい祭りでブース展示		
	実績値	109件	・設計75件 ・工事70件	・設計92件 ・工事89件	・設計79件 ・工事68件	設計246 工事227				
	達成(評価)	-	B B	A B	B B	-	-			
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) H28年度の熊本地震の影響等もあり近年問い合わせも多く、目標値に近い実績があったが、時間が経過するとともに申請件数は減少傾向にある。ただし、各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいたけように周知していく必要がある。								

戦略の柱	◆取り組みの柱							4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)
	年度	H27	H28	H29	H30	計			
	事業名称	目標値					A/B/C		
住宅の耐震化	○具体的な取組(P)								
	3. コンクリートブロック塀耐震対策事業 【利用件数】 ・香南市ブロック塀等耐震対策事業費補助金 ※避難路等に面している危険性の高いコンクリートブロック塀等を撤去したり、安全なフェンスなどに造り替える経費に対して補助。 (上限205千円) (H27) 利用件数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
	目標値	-	15件	15件	18件	48	A	市広報・HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知	
	実績値	-	12件	14件	27件	53			
	達成(評価)	-	B	B	A	-	-		
精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 平成30年6月の大阪府北部地震後に問い合わせが多数あり、コンクリートブロック塀耐震対策の必要性について住民の意識が高まった。								
空き家対策	◆空き家対策								
	1. 老朽住宅等除却事業 【利用件数】 ・香南市老朽住宅等除却事業費補助金 ※避難路等に面している又は延焼等により近隣住宅に影響する場所に存在する著しく老朽化した住宅等の除却に要する経費に対して補助。(補助率80%、上限1,645千円) (H27) 事業開始・補助金利用件数 (H28) 同上(延べ) (H29) 同上 (H30) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
		目標値	-	20件	20件	20件	60	A	市広報・HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知
		実績値	23件	20件	20件	28件	68		
		達成(評価)	-	A	A	A	-	-	
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 老朽化した空家の増加や制度が住民に広く認知されるようになり、今後増加が見込まれる。						
	2. 移住定住促進空き家活用住宅事業 (国県財源措置あり) 【お試し住宅の整備件数】 (H27) - (H28) 整備開始 (H29) 同上 (H30) 整備済みのため事業としては廃止 ただし、拠点の運用を継続。	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
		目標値	-	1棟	1棟	-	1	A	H29年度に香我美町西川地区にお試し滞在住宅1棟を整備。 ※今後、新たな施設整備の予定なし
		実績値	-	0棟	1棟	-	1		
		達成(評価)	-	C	A	-	-	-	
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) H29年度に1棟のお試し滞在住宅を整備し、H30年度末における利用実績は4組6人となっている。そのうち2組3人が本市へ移住をしており、一定期間実際に地域の暮らしを体験できる施設として、有効に機能している。						
	3. ウェルカム移住・定住促進事業費補助金 【交付件数】 ・香南市ウェルカム移住・定住促進事業費補助金 (H27) - (H28) 住宅取得支援補助 (H29) 住宅取得支援補助及び引越支援補助件数 (H30) 活用事例がないため要綱等を 変更し廃止 →5-1 空き家改修事業費等補助金へ	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容
		目標値	-	・取得 2件	・取得 2件 ・引越 3件	-	取得 2 引越 3	取得 C 引越 C	H28年度に事業開始するも利用実績がなく、H29年度末をもって廃止。
		実績値	-	・取得 0件	・取得 0件 ・引越 0件	-	取得 0 引越 0		
		達成(評価)	-	C	C	-	-	-	
		精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) H28年度に補助金制度を開始したが、地区の縛りにより、使い勝手が悪かったことから、利用実績なし。内容を見直し、本事業はH29年度で廃止している。						
4. 空き家バンク事業 【登録棟数(延べ)】 (H27) - (H28) 移住定住促進を目的とした空き家の有効活用 (H29) 同上 (H30) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
	目標値	-	3棟	5棟	20棟	20	A	H28年度の事業開始以降、市広報等での制度の周知に努めるほか、地域との連携による空き家情報収集や活用可能な空き家調査を実施。	
	実績値	-	3棟	18棟	32棟	32			
	達成(評価)	-	A	A	A	-	-		
	精査(C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) H28年度の事業開始以降、市広報等も用いた制度の周知に努めるほか、まちづくり協議会や不動産業者等、地域との連携による空き家情報収集や移住相談員による活用可能な空き家調査を実施し、空き家の掘り起こしに取り組んできた。H30年度末の登録棟数(延べ)32棟のうち、12棟は市外及び県外の方との賃貸・売買契約に至っており、市内空き家の有効活用を通じた、移住希望者への住宅提供にも繋がっている。							

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取組内容】(D)	
	事業名称	目標値						A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値								
空き家対策	5-1. 空き家改修事業費等補助金 (空き家改修事業:国県財源措置あり) 【空き家改修事業】 ※市の空き家バンクに登録し、貸借や売買の相手が決まった場合、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、耐震化を必須として、トイレの水洗化等住宅性能の向上のためのリフォームに要する費用を補助する。 (H27) - (H28) - (H29) 空き家改修事業 (補助率10/10、上限1,824千円) (H30) 空き家改修事業	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容	
		目標値	-	-	3件	3件	6件	C	H29年度の事業開始以降、制度の周知を図るため、「空き家バンク制度」と合わせた、広報を実施。	
		実績値	-	-	1件	2件	3件			
		達成 (評価)	-	-	C	B	-	-		
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 実績としては、H29年度:1件、H30年度:2件と、いずれも目標値を下回っている。市外からの移住者と空き家バンク物件のマッチングが成立した場合に活用できる補助事業となっているため、古い物件が多いことや、売買を希望する空き家所有者が多いのに対し、賃貸を希望する移住希望者が多いことなどがミスマッチの要因となり、活用に繋がりにくかったと思われる。そのため、H31年度からは、賃貸物件については、契約成立前でも補助金の活用が可能となるよう制度を拡充。							
	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	4年間の取組内容		
	目標値	-	-	-	2件	2	C	H30年度の事業開始以降、制度の周知を図るため、「空き家バンク制度」と合わせた、広報を実施。		
	実績値	-	-	-	0件	0				
	達成 (評価)	-	-	-	C	-	-			
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) H30年度より、事業開始。空き家バンクに登録されている物件の状態を考慮すると、軽微な修繕ではなく、全面的な改修を要するケースがほとんどであるため、活用に至っていない。								
	年度	H27	H28	H29	H30	計(C)	4年間の達成 (達成度合)		4年間の取組内容	
	目標値	-	-	-	2件	2	A	H29年度の事業開始以降、制度の周知を図るため、「空き家バンク制度」と合わせた、広報を実施。		
実績値	-	-	-	3件	3					
達成 (評価)	-	-	-	A	-	-				
精査 (C)	【4年間の取組精査】(第1期精査) 事業自体は、H29年度に開始。実績としては、H29年度:2件、H30年度:3件となっており、移住希望者が活用する「空き家」の住環境整備に寄与している。※荷物処分支援事業は、住宅施策と関連性がないため、産業振興計画における取組としてはH31(R1年)より削除。(事業廃止ではない)									